**東京書籍「新編古典探究」（古探701）**

■『宇治拾遺物語』「小野篁，広才のこと」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　（１）イ | ・説話の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・説話の文章の特徴について理解している。 | ・説話の文章の特徴について理解していない。 |
| ③文章の展開  （１）ウ | ・文章の展開の仕方について理解し，説明している。 | ・文章の展開の仕方について理解している。 | ・文章の展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  　　　　（１）エ | ・「子」文字などの表現について理解し，その内容を説明している。 | ・「子」文字などの表現について理解している。 | ・「子」文字などの表現について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の敬語などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語などの文法事項を理解している。 | ・本文中の敬語などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・帝と篁の言動と両者の関係性を読み取り，根拠とともに説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・帝と篁の言動と両者の関係性を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・帝と篁の言動と両者の関係性を読み取っていない。 |
| ⑦表現の特色の理解　読（１）ウ | ・言葉遊びのおもしろさについて理解し，その内容を説明している。 | ・言葉遊びのおもしろさについて理解している。 | ・言葉遊びのおもしろさについて理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）オ | ・帝と篁の関係性について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・帝と篁の関係性について考えている。 | ・帝と篁の関係性について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・帝と篁のやりとりのおもしろさはどのような点にあると思うか文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・帝と篁のやりとりのおもしろさはどのような点にあると思うか，文章にまとめようとしている。 | ・帝と篁のやりとりのおもしろさはどのような点にあると思うか，文章にまとめようとしていない。 |

■『十訓抄』「大江山の歌」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴と構成 （１）イウ | ・和歌を含む説話の特徴や，文章の構成について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌を含む説話の特徴や，文章の構成について理解している。 | ・和歌を含む説話の特徴や，文章の構成について理解していない。 |
| ③表現の特色  　　　　（１）エ | ・和歌の修辞や特色について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞や特色について理解している。 | ・和歌の修辞や特色について理解していない。 |
| ④古典常識  （２）ア | ・本文中に登場する古典常識について理解し，その内容を説明している。 | ・本文中に登場する古典常識について理解している。 | ・本文中に登場する古典常識について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）イ | ・本文中の敬語などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語などの文法事項を理解している。 | ・本文中の敬語などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・定頼中納言の言動と，それに対して小式部内侍がとった行動を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・定頼中納言の言動と，それに対して小式部内侍がとった行動を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・定頼中納言の言動と，それに対して小式部内侍がとった行動を読み取っていない。 |
| ⑦表現の特色の理解　読（１）ウ | ・小式部内侍の詠んだ和歌に込められた思いを理解し，その内容を説明している。 | ・小式部内侍の詠んだ和歌に込められた思いを理解している。 | ・小式部内侍の詠んだ和歌に込められた思いを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）オ | ・この説話のおもしろさについて自分の考えを持ち，根拠とともに説明している。 | ・この説話のおもしろさについて自分の考えを持っている。 | ・この説話のおもしろさについて自分の考えを持っていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・和歌を含んだ説話の展開のおもしろさについて，自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・和歌を含んだ説話の展開のおもしろさについて，自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・和歌を含んだ説話の展開のおもしろさについて，自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『宇治拾遺物語』「空を飛ぶ倉」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・説話の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・説話の文章の特徴について理解している。 | ・説話の文章の特徴について理解していない。 |
| ③文章の展開  （１）ウ | ・文章の展開の仕方について理解し，説明している。 | ・文章の展開の仕方について理解している。 | ・文章の展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  　　　　（１）エ | ・古典特有の表現や説話の持つリズムなどについて理解し，その内容を説明している。 | ・古典特有の表現や説話の持つリズムなどについて理解している。 | ・古典特有の表現や説話の持つリズムなどについて理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の副詞などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の副詞などの文法事項を理解している。 | ・本文中の副詞などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・説話中の不思議な出来事について，絵巻の絵も参考にしつつ状況を把握し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・説話中の不思議な出来事について，絵巻の絵も参考にしつつ状況を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・説話中の不思議な出来事について，状況を把握していない。 |
| ⑦他の作品との関係　読（１）エ | ・絵巻の絵が本文のどの場面を描いたものかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・絵巻の絵が本文のどの場面を描いたものかを理解している。 | ・絵巻の絵が本文のどの場面を描いたものかを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  　　読（１）カ | ・この話のおもしろさについて自分の考えを持ち，根拠とともに説明している。 | ・この話のおもしろさについて自分の考えを持っている。 | ・この話のおもしろさについて自分の考えを持っていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・絵巻と本文とを関連付けて捉えることの意味について，自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・絵巻と本文とを関連付けて捉えることの意味について，自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・絵巻と本文とを関連付けて捉えることの意味について，自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『徒然草』「丹波に出雲といふ所あり」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・『徒然草』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や表現　（１）ウエ | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解し，その内容を説明している。 | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解している。 | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解していない。 |
| ④背景知識  （２）アイ | ・本文中に登場する「大社」「獅子」「狛犬」などについて理解し，その内容を説明している。 | ・本文中に登場する「大社」「獅子」「狛犬」などについて理解している。 | ・本文中に登場する「大社」「獅子」「狛犬」などについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・聖海上人の言動と心情を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・聖海上人の言動と心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・聖海上人の言動と心情を読み取っていない。 |
| ⑥文章の展開の理解　読（１）ウ | ・話の流れをたどって，上人の感涙が無駄になってしまった理由を理解し，根拠とともに説明している。 | ・話の流れをたどって，上人の感涙が無駄になってしまった理由を理解している。 | ・話の流れをたどって，上人の感涙が無駄になってしまった理由を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  　　読（１）カ | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしている。 | ・上人に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしていない。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・『徒然草』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や表現　（１）ウエ | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解し，その内容を説明している。 | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解している。 | ・古文の文章の特徴や，古典特有の表現について理解していない。 |
| ④背景知識  （２）アイ | ・旧暦や月の満ち欠けと月齢，当時の住居の様子について理解し，その内容を説明している。 | ・旧暦や月の満ち欠けと月齢，当時の住居の様子について理解している。 | ・旧暦や月の満ち欠けと月齢，当時の住居の様子について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・人物相互の関係とそれぞれの行動を読み取っていない。 |
| ⑥表現の特色の理解　読（１）ウ | ・文中の表現を味わいながら，「その人」に対する作者の心情を理解し，根拠とともに説明している。 | ・文中の表現を味わいながら，「その人」に対する作者の心情を理解している。 | ・文中の表現を味わいながら，「その人」に対する作者の心情を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  　　読（１）カ | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしている。 | ・「その人」に関する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしていない。 |

■『徒然草』「九月二十日のころ」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・『徒然草』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解している。 | ・『徒然草』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や表現　（１）ウエ | ・反語表現とその効果について理解し，その内容を説明している。 | ・反語表現とその効果について理解している。 | ・反語表現とその効果について理解していない。 |
| ④他の文化との関係　（２）アイ | ・本文が典拠としている漢詩や和歌について理解し，その内容を説明している。 | ・本文が典拠としている漢詩や和歌について理解している。 | ・本文が典拠としている漢詩や和歌について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・作者が，花や月の美，恋のあり方について述べていることを把握し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・作者が，花や月の美，恋のあり方について述べていることを把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・作者が，花や月の美，恋のあり方について述べていることを把握していない。 |
| ⑥表現の特色の理解　読（１）ウ | ・作者が，花や月の美，恋のあり方についてどのように考えているかを読み取り，根拠とともに説明している。 | ・作者が，花や月の美，恋のあり方についてどのように考えているかを読み取っている。 | ・作者が，花や月の美，恋のあり方についてどのように考えているかを読み取っていない。 |
| ⑦考えの形成  　　読（１）カ | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って，伝えようとしている。 | ・花や月の美，恋のあり方に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って，伝えようとしていない。 |

■『徒然草』「花は盛りに」ルーブリック例

■［言語活動］「『徒然草』と『玉勝間』を読み比べる」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・『徒然草』『玉勝間』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『徒然草』『玉勝間』の概要や特徴について理解している。 | ・『徒然草』『玉勝間』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 　（１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  　　　　（１）エ | ・批判する際の表現や，反語表現とその効果について理解し，その内容を説明している。 | ・批判する際の表現や，反語表現とその効果について理解している。 | ・批判する際の表現や，反語表現とその効果について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助詞の意味・用法や係り結びなどの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助詞の意味・用法や係り結びなどの文法事項を理解している。 | ・本文中の助詞の意味・用法や係り結びなどの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥他の作品との関係　読（１）エ | ・「花」や「月」，「恋」について，両者の考え方の違いを理解し，その内容を説明している。 | ・「花」や「月」，「恋」について，両者の考え方の違いを理解している。 | ・「花」や「月」，「恋」について，両者の考え方の違いを理解していない。 |
| ⑦考えの形成  　読（１）カク | ・両者の考え方の違いについての考察を通して，人間，社会，自然，言語文化などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・両者の考え方の違いについての考察を通して，人間，社会，自然，言語文化などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・両者の考え方の違いについての考察を通して，人間，社会，自然，言語文化などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧読み比べ・論述 | ・『徒然草』と『玉勝間』を読み比べ，作者の考え方の違いについて考察して文章にまとめるとともに，他者の文章を読むことを通して，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・『徒然草』と『玉勝間』を読み比べ，作者の考え方の違いについて考察し，文章にまとめようとしている。 | ・『徒然草』と『玉勝間』を読み比べ，作者の考え方の違いについて考察し，文章にまとめようとしていない。 |

■『方丈記』「ゆく河の流れ」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・『方丈記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『方丈記』の概要や特徴について理解している。 | ・『方丈記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③構成や表現の特色　 （１）ウエ | ・比喩や，対句表現とその効果について理解し，その内容を説明している。 | ・比喩や，対句表現とその効果について理解している。 | ・比喩や，対句表現とその効果について理解していない。 |
| ④背景知識  （２）アイ | ・当時の仏教的無常観について理解し，その内容を説明している。 | ・当時の仏教的無常観について理解している。 | ・当時の仏教的無常観について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「人」と「栖」，「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」の対応関係を把握し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「人」と「栖」，「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」の対応関係を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「人」と「栖」，「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」の対応関係を把握していない。 |
| ⑥文章の展開の理解　読（１）ウ | ・「人」と「栖」と,「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取り，その内容を説明している。  ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・「人」と「栖」と，「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取っている。  ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解している。 | ・「人」と「栖」と,「ゆく河の流れ」と「淀みに浮かぶうたかた」との類似点を読み取っていない。  ・「無常を争ふさま」とはどのようなことかを理解していない。 |
| ⑦考えの形成  　　読（１）カ | ・『方丈記』で描かれる「無常観」から，人間や社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・『方丈記』で描かれる「無常観」から，人間や社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・『方丈記』で描かれる「無常観」から，人間や社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・レポート | ・表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し，『方丈記』で描かれる「無常観」について自分の考えを文章にまとめ，他者の文章を読んで，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し，『方丈記』で描かれる「無常観」について，自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・表現の特色に注意しながら作品の内容を解釈し，『方丈記』で描かれる「無常観」について，自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『竹取物語』「天の羽衣」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解している。 | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・和歌の修辞や特色について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞や特色について理解している。 | ・和歌の修辞や特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の敬語の種類や用法などの文法事項について理解し，さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語の種類や用法などの文法事項について理解している。 | ・本文中の敬語の種類や用法などの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・天人とかぐや姫の言動を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・天人とかぐや姫の言動を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・天人とかぐや姫の言動を把握していない。 |
| ⑦内容の解釈  　 読（１）エ | ・「朝廷」への手紙と歌に込められているかぐや姫の心情を理解し，根拠とともに説明している。 | ・「朝廷」への手紙と歌に込められているかぐや姫の心情を理解している。 | ・「朝廷」への手紙と歌に込められているかぐや姫の心情を理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・「天の羽衣」がかぐや姫にもたらした変化について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「天の羽衣」がかぐや姫にもたらした変化について考えている。 | ・「天の羽衣」がかぐや姫にもたらした変化について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・かぐや姫がどのような人物として描かれているか，自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・かぐや姫がどのような人物として描かれているか，自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・かぐや姫がどのような人物として描かれているか，自分の考えを文章にまとめようとしている。 |

■『竹取物語』「富士の山」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴 　（１）イ | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解している。 | ・『竹取物語』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・和歌の修辞や特色について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞や特色について理解している。 | ・和歌の修辞や特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の敬語の種類や用法，音便形などの文法事項について理解し，さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語の種類や用法，音便形などの文法事項について理解している。 | ・本文中の敬語の種類や用法，音便形などの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・帝の言動を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・帝の言動を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・帝の言動を把握していない。 |
| ⑦内容の解釈  　 読（１）エ | ・かぐや姫が天に昇った後の帝の心情を理解し，根拠とともに説明している。 | ・かぐや姫が天に昇った後の帝の心情を理解している。 | ・かぐや姫が天に昇った後の帝の心情を理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・「富士の山」の名前のいわれについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「富士の山」の名前のいわれについて考えている。 | ・「富士の山」の名前のいわれについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・「天の羽衣」「富士の山」から読み取れる当時の人々の思いについて自分の考えを伝え，話し合いを通してそれをさらに深めようとしている。 | ・「天の羽衣」「富士の山」から読み取れる当時の人々の思いについて，自分の考えを伝えようとしている。 | ・「天の羽衣」「富士の山」から読み取れる当時の人々の思いについて，自分の考えを伝えようとしていない。 |

■「小倉百人一首の世界」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・『小倉百人一首』や鑑賞文の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『小倉百人一首』や鑑賞文の概要や特徴について理解している。 | ・『小倉百人一首』や鑑賞文の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・和歌の修辞や特色について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞や特色について理解している。 | ・和歌の修辞や特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・和歌中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・和歌中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解している。 | ・和歌中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解していない。 |
| ⑥読書の意義と効用　　（２）エ | ・本文に表れているものの見方や考え方に親しむことを通して，読書の意義と効用を理解し，その内容を説明している。 | ・本文に表れているものの見方や考え方に親しむことを通して，読書の意義と効用を理解している。 | ・本文に表れているものの見方や考え方に親しむことを通して，読書の意義と効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑦現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・『小倉百人一首』の歌について書かれた鑑賞文の内容を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・『小倉百人一首』の歌について書かれた鑑賞文の内容を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・『小倉百人一首』の歌について書かれた鑑賞文の内容を把握していない。 |
| ⑧表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・「君がため…」の歌について，筆者が「視覚」と「心情」それぞれの面からどのように評価しているかを理解し，その内容を説明している。  ・「ちはやぶる…」の歌の「水くくる」の部分について，『小倉百人一首』の撰者である藤原定家の解釈と，筆者の解釈との違いについて理解し，根拠とともに説明している。  ・「わが袖は…」の歌について，「沖の石」のどのような状態を，どのような心情にたとえたのかを理解し，その内容を説明している。  ・「めぐりあひて…」の歌の「それともわかぬ間に雲がくれにし」とはどのような状態をいうのか，「月」の場合と，「幼友達」の場合のそれぞれについて理解し，その内容を説明している。 | ・「君がため…」の歌について，筆者が「視覚」と「心情」それぞれの面からどのように評価しているかを理解している。  ・「ちはやぶる…」の歌の「水くくる」の部分について，『小倉百人一首』の撰者である藤原定家の解釈と，筆者の解釈との違いについて理解している。  ・「わが袖は…」の歌について，「沖の石」のどのような状態を，どのような心情にたとえたのかを理解している。  ・「めぐりあひて…」の歌の「それともわかぬ間に雲がくれにし」とはどのような状態をいうのか，「月」の場合と，「幼友達」の場合のそれぞれについて理解している。 | ・「君がため…」の歌について，筆者が「視覚」と「心情」それぞれの面からどのように評価しているかを理解していない。  ・「ちはやぶる…」の歌の「水くくる」の部分について，『小倉百人一首』の撰者である藤原定家の解釈と，筆者の解釈との違いについて理解していない。  ・「わが袖は…」の歌について，「沖の石」のどのような状態を，どのような心情にたとえたのかを理解していない。  ・「めぐりあひて…」の歌の「それともわかぬ間に雲がくれにし」とはどのような状態をいうのか，「月」の場合と，「幼友達」の場合のそれぞれについて理解していない。 |
| ⑨考えの形成  読（１）カク | ・『小倉百人一首』の歌に対する筆者の解釈について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・『小倉百人一首』の歌に対する筆者の解釈について考えている。 | ・『小倉百人一首』の歌に対する筆者の解釈について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑩調査・レポート | ・『小倉百人一首』の歌の意味や詠まれた状況などについて調べて鑑賞文を書き，他者の文章を詠むことを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・『小倉百人一首』の歌の意味や詠まれた状況などについて調べ，鑑賞文を書こうとしている。 | ・『小倉百人一首』の歌の意味や詠まれた状況などについて調べ，鑑賞文を書こうとしていない。 |

■［言語活動］「和歌を読み比べる―討論会形式の『歌合』」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文章の特徴と文化の特質の理解 　（１）イ（２）ア | ・「歌合」の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・「歌合」の概要や特徴について理解している。 | ・「歌合」の概要や特徴について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ②表現の特色の理解 　読（１）ウ | ・歌に詠み込まれている情景や心情などについて理解し，根拠とともに説明している。 | ・歌に詠み込まれている情景や心情などについて理解している。 | ・歌に詠み込まれている情景や心情などについて理解していない。 |
| ③考えの形成  読（１）カ | ・歌に詠み込まれている情景や心情などをふまえて工夫されている点について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・歌に詠み込まれている情景や心情などをふまえ，工夫されている点について考えている。 | ・歌に詠み込まれている情景や心情などをふまえ，工夫されている点について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ④読み比べ・発表 | ・二首の共通点や相違点を指摘したり，読み比べてわかったことや感じたことなどを文章にまとめたりし，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・二首の共通点や相違点を指摘したり，読み比べてわかったことや感じたことなどを文章にまとめたりしようとしている。 | ・二首の共通点や相違点を指摘したり，読み比べてわかったことや感じたことなどを文章にまとめたりしようとしていない。 |

■『土佐日記』「馬のはなむけ」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解している。 | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③構成や表現の特色　　（１）ウエ | ・書き手の設定について理解し，その内容を説明している。 | ・書き手の設定について理解している。 | ・書き手の設定について理解していない。 |
| ④背景知識  （２）アイ | ・旧国名や旧暦，古時刻について理解し，その内容を説明している。  ・当時の旅のしきたりや，船旅の困難さについて理解し，その内容を説明している。 | ・旧国名や旧暦，古時刻について理解している。  ・当時の旅のしきたりや，船旅の困難さについて理解している。 | ・旧国名や旧暦，古時刻について理解していない。  ・当時の旅のしきたりや，船旅の困難さについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・旅立ちの事情や見送りの人々の様子を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・旅立ちの事情や見送りの人々の様子を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・旅立ちの事情や見送りの人々の様子を読み取っていない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・ぼかした表現やしゃれの効いた表現を理解し，根拠とともに説明している。 | ・ぼかした表現やしゃれの効いた表現を理解している。 | ・ぼかした表現やしゃれの効いた表現を理解していない。 |
| ⑦作品の背景の理解　読（１）エ | ・当時の日記とはどのようなものであったか理解し,説明している。 | ・当時の日記とはどのようなものであったか理解している。 | ・当時の日記とはどのようなものであったか理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを読み取り，その意図について自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを読み取り，その意図について自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・冒頭の一文から，作者がどのような日記を書こうとしているのかを読み取り，その意図について自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・本文の表現の特色を理解し，作品に込められた意図を考えるとともに，その内容を他者に説明しようとしている。 | ・本文の表現の特色を理解し，作品に込められた意図を考えようとしている。 | ・本文の表現の特色を理解し，作品に込められた意図を考えようとしていない。 |

■『土佐日記』「帰京」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解している。 | ・『土佐日記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③構成や表現の特色　　（１）ウエ | ・旅の終着点であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解し，説明している。  ・和歌の修辞について理解し,説明している。 | ・旅の終着点であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解している。  ・和歌の修辞について理解している。 | ・旅の終着点であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解していない。  ・和歌の修辞について理解していない。 |
| ④文法知識  （２）アイ | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・作者が京の家に帰宅して感じた心情を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・作者が京の家に帰宅して感じた心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・作者が京の家に帰宅して感じた心情を読み取っていない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・本文末尾の一文が，冒頭と照応している結語であることを理解するとともに，その内容を説明している。 | ・本文末尾の一文が，冒頭と照応している結語であることを理解している。 | ・本文末尾の一文が，冒頭と照応している結語であることを理解していない。 |
| ⑦作品の背景の理解　読（１）エ | ・二首の和歌を詠むきっかけとなった事物とその背景となった出来事を読み取り,その内容を説明している。 | ・二首の和歌を詠むきっかけとなった事物とその背景となった出来事を読み取っている。 | ・二首の和歌を詠むきっかけとなった事物とその背景となった出来事を読み取っていない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・末尾の一文には作者のどのような心情が込められているか考察することを通して,人間や社会に対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・末尾の一文には作者のどのような心情が込められているか考察することを通して,人間や社会に対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・末尾の一文には作者のどのような心情が込められているか考察することを通して,人間や社会に対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・独特の設定で日記を記した作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・独特の設定で日記を記した作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えようとしている。 | ・独特の設定で日記を記した作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えようとしていない。 |

■『更級日記』「門出」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『更級日記』の特徴や構成について理解し，その内容を説明している。 | ・『更級日記』の特徴や構成について理解している。 | ・『更級日記』の特徴や構成について理解していない。 |
| ③文章の構成や表現　　（１）ウエ | ・冒頭の表現の意味や効果について理解し，その内容を説明している。 | ・冒頭の表現の意味や効果について理解している。 | ・冒頭の表現の意味や効果について解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・作者の境遇や門出に際しての心情，物語に向けられた思いを読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・作者の境遇や門出に際しての心情，物語に向けられた思いを読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・作者の境遇や門出に際しての心情，物語に向けられた思いを読み取っていない。 |
| ⑥作品の背景の理解　 読（１）エ | ・作品成立当時と現代とを比べて，物語へのアクセスのよさや娯楽の多さはどのように異なるかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・作品成立当時と現代とを比べて，物語へのアクセスのよさや娯楽の多さはどのように異なるかを理解している。 | ・作品成立当時と現代とを比べて，物語へのアクセスのよさや娯楽の多さはどのように異なるかを理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）オ | ・作者の境遇や物語に対する作者の心情を踏まえ，自分の知見と結びつけながら自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・作者の境遇や物語に対する作者の心情を踏まえ，自分の知見と結びつけながら自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・作者の境遇や物語に対する作者の心情を踏まえ，自分の知見と結びつけながら自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む  態度 | ⑧レポート・発表 | ・物語に対する作者の感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，小説などの創作物が自分にどのような影響を与えてきたかを振り返って文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・物語に対する作者の感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，小説などの創作物が自分にどのような影響を与えてきたかを振り返って文章にまとめようとしている。 | ・物語に対する作者の感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，小説などの創作物が自分にどのような影響を与えてきたかを振り返って文章にまとめようとしていない。 |

■『更級日記』「物語」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・日記としての記述の特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・日記としての記述の特徴について理解している。 | ・日記としての記述の特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や表現　　（１）ウエ | ・描かれている場面と記述している時の時間の隔たりについて理解し，その内容を説明している。 | ・描かれている場面と記述している時の時間の隔たりについて理解している。 | ・描かれている場面と記述している時の時間の隔たりについて理解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイ | ・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助詞の用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・作者が憧れていた『源氏物語』を入手した経緯と『源氏物語』を読む心情を読み取り，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・作者が憧れていた『源氏物語』を入手した経緯と『源氏物語』を読む心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・作者が憧れていた『源氏物語』を入手した経緯と『源氏物語』を読む心情を読み取っていない。 |
| ⑥作品の背景の理解　 読（１）エ | ・信仰に対する当時の考え方を踏まえながら作者の夢の内容を理解し，根拠とともに説明している。 | ・信仰に対する当時の考え方を踏まえながら作者の夢の内容を理解している。 | ・信仰に対する当時の考え方を踏まえながら作者の夢の内容を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）オ | ・末尾の表現を踏まえ，本文を書いた時点の作者は，『源氏物語』を入手したときの作者自身をどのように考えているのか考察し，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・末尾の表現を踏まえ，本文を書いた時点の作者は，『源氏物語』を入手したときの作者自身をどのように考えているのか考察している。 | ・末尾の表現を踏まえ，本文を書いた時点の作者は，『源氏物語』を入手したときの作者自身をどのように考えているのか考察していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・当時の女性たちが日記文学を作った理由について，現代における「日記」との違いを踏まえながら考察し，話し合いを通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 | ・当時の女性たちが日記文学を作った理由について，現代における「日記」との違いを踏まえながら考察しようとしている。 | ・当時の女性たちが日記文学を作った理由について，現代における「日記」との違いを踏まえながら考察しようとしていない。 |

■『平家物語』「壇の浦の合戦」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　（１）イエ | ・軍記物語の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。  ・場面や心情を味わえるようリズムなどに工夫して朗読し，その工夫について説明している。 | ・軍記物語の文章の特徴について理解している。  ・場面や心情を味わえるようリズムなどに工夫して朗読している。 | ・軍記物語の文章の特徴について理解していない。  ・場面や心情を味わえるようリズムなどに工夫して朗読していない。 |
| ③文章の構成  （１）ウ | ・本文全体の構成を意識しながらあらすじを把握し，説明している。 | ・本文全体の構成を意識しながらあらすじを把握している。 | ・本文全体の構成を意識しながらあらすじを把握していない。 |
| ④和漢混交文  （２）ア | ・和漢混交文について理解し，説明している。 | ・和漢混交文について理解している。 | ・和漢混交文について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）イ | ・本文中の助動詞の，意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。  ・呼応する語句の意味や用法について理解し，説明している。 | ・本文中の助動詞の，意味や用法などの文法事項を理解している。  ・呼応する語句の意味や用法について理解している。 | ・本文中の助動詞の，意味や用法などの文法事項を理解していない。  ・呼応する語句の意味や用法について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「壇の浦の合戦」が源平の戦いにおいてどのような位置づけにあるかを理解し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「壇の浦の合戦」が源平の戦いにおいてどのような位置づけにあるかを理解している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「壇の浦の合戦」が源平の戦いにおいてどのような位置づけにあるかを理解していない。 |
| ⑦文章の展開の理解　読（１）ウ | ・知盛の発言や,それに対する教経の捉え方に着目し,知盛と教経それぞれの心情と人物像を読み取り，他者に説明している。 | ・知盛の発言や,それに対する教経の捉え方に着目し,知盛と教経それぞれの心情と人物像を読み取っている。 | ・知盛の発言や,それに対する教経の捉え方に着目し,知盛と教経それぞれの心情と人物像を読み取っていない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・最後の情景描写に表れているものの見方，感じ方，考え方について考察し，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・最後の情景描写に表れているものの見方，感じ方，考え方について考察している。 | ・最後の情景描写に表れているものの見方，感じ方，考え方について考察していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・調査・発表 | ・登場人物が死に直面した際の心情について，考えを文章にまとめるとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。  ・『平家物語』を題材とした芸能や文学について調べてまとめるとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・登場人物が死に直面した際の心情について，考えを文章にまとめようとしている。  ・『平家物語』を題材とした芸能や文学について調べてまとめようとしている。 | ・登場人物が死に直面した際の心情について，考えを文章にまとめようとしていない。  ・『平家物語』を題材とした芸能や文学について調べてまとめようとしていない。 |

■『世間胸算用』「蛸売りの八助」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イウ | ・『世間胸算用』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『世間胸算用』の概要や特徴について理解している。 | ・『世間胸算用』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）エ | ・近世小説の表現の特色について理解し，その効果について説明している。 | ・近世小説の表現の特色について理解している。 | ・近世小説の表現の特色について理解していない。 |
| ④文法理解  　（２）アイ | ・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞や助詞などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「蛸売りの八助」がとった行動とその結果どうなったかを読み取り，内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「蛸売りの八助」がとった行動とその結果どうなったかを読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「蛸売りの八助」がとった行動とその結果どうなったかを読み取っていない。 |
| ⑥作品の背景の理解　 読（１）エ | ・当時の庶民の暮らしぶりについて知識を得，「蛸売りの八助」が「親仁」に会ったのが「年の暮れ」であったことの効果について理解し，その内容を説明している。 | ・当時の庶民の暮らしぶりについて知識を得，「蛸売りの八助」が「親仁」に会ったのが「年の暮れ」であったことの効果について理解している。 | ・当時の庶民の暮らしぶりについて知識を得，「蛸売りの八助」が「親仁」に会ったのが「年の暮れ」であったことの効果について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・「親仁」の人物像について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「親仁」の人物像について考えている。 | ・「親仁」の人物像について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・話の結末とそこに込められた教訓について考察し，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・話の結末とそこに込められた教訓について考察しようとしている。 | ・話の結末とそこに込められた教訓について考察しようとしていない。 |

■『おらが春』「幼子さと」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イウ | ・『おらが春』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『おらが春』の概要や特徴について理解している。 | ・『おらが春』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）エ | ・俳文の表現の特色について理解し，その効果について説明している。 | ・俳文の表現の特色について理解している。 | ・俳文の表現の特色ついて理解していない。 |
| ④背景知識  　（２）アイ | ・数え年や陰暦などについて理解し，その内容を説明している。 | ・数え年や陰暦などについて理解している。 | ・数え年や陰暦などについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「さと」の描写から「さと」に対する作者の心情を読み取り，内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「さと」の描写から「さと」に対する作者の心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「さと」の描写から「さと」に対する作者の心情を読み取っていない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・多用されている比喩表現の効果について理解し，その内容を説明している。 | ・多用されている比喩表現の効果について理解している。 | ・多用されている比喩表現の効果について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・家族に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・家族に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・家族に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間や社会などに対する自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・人間に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・人間に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしている。 | ・人間に対する作者のものの見方，感じ方，考え方を読み取り，伝えようとしていない。 |

■「ご当地キャラクターと古典」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古典作品の知識  　　　　　（１）イ | ・本文中に挙げられた古典作品や,ご当地キャラクターと関係する古典作品について知識を得，概要を説明している。 | ・本文中に挙げられた古典作品や,ご当地キャラクターと関係する古典作品について知識を得ている。 | ・本文中に挙げられた古典作品や,ご当地キャラクターと関係する古典作品について知識を得ていない。 |
| ②現代との関わり  （２）アウ | ・現代において，土地に関連する古典作品などを元に考案されたものについて調べ，古典と現代との関わりについて考え，説明している。 | ・現代において，土地に関連する古典作品などを元に考案されたものについて調べ，古典と現代との関わりについて考えている。 | ・現代において，土地に関連する古典作品などを元に考案されたものについて調べ，古典と現代との関わりについて考えていない。 |
| 思考・判断・表現 | ③考えの形成  読（１）キク | ・興味のある土地に関連する古典作品などからご当地キャラクターを考案して発表し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，その内容を説明している。 | ・興味のある土地に関連する古典作品などからご当地キャラクターを考案して発表し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・興味のある土地に関連する古典作品などからご当地キャラクターを考案して発表し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ④発表・話し合い | ・古典作品や伝説，歴史上の出来事などから現代の生活に根付いているものを調べたり，新たな発想で現代の生活に生かせるものを考えたりして発表し，話し合いを通して古典の世界と現代とのつながりについて自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・古典作品や伝説，歴史上の出来事などから現代の生活に根付いているものを調べたり，新たな発想で現代の生活に生かせるものを考えたりして発表しようとしている。 | ・古典作品や伝説，歴史上の出来事などから現代の生活に根付いているものを調べたり，新たな発想で現代の生活に生かせるものを考えたりして発表しようとしていない。 |

■『枕草子』「ありがたきもの」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②作品の種類と特徴　 （１）イ | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解し，説明している。 | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解している。 | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  　（１）ウエ | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解し，説明している。 | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解している。 | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解していない。 |
| ④現代語との違い  　　　（２）アウ | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解し，その内容を説明している。 | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解している。 | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の形容詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の形容詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の形容詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，適切な現代語訳をしている。  ・「ありがたし」が現代のどのような言葉に置き換えることができるかを考え，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「ありがたし」が現代のどのような言葉に置き換えることができるかを考えている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「ありがたし」が現代のどのような言葉に置き換えることができるかを考えていない。 |
| ⑦文章の展開の理解　読（１）ウ | ・作者が「ありがたし」と表現した事例とその内容を本文に即して把握し，根拠とともに説明している。 | ・作者が「ありがたし」と表現した事例とその内容を本文に即して把握している。 | ・作者が「ありがたし」と表現した事例とその内容を本文に即して把握していない。 |
| ⑧他の作品との関係　読（１）エ | ・「ものづくし」のパロディが作られた理由について考察し，話し合っている。 | ・「ものづくし」のパロディが作られた理由について考察している。 | ・「ものづくし」のパロディが作られた理由について考察していない。 |
| ⑨考えの形成  読（１）オカ | ・作者の挙げる「ありがたきもの」のそれぞれについて，現代との違いを踏まえたうえで自分の意見や感想を持っている。 | ・作者の挙げる「ありがたきもの」のそれぞれについて，現代との違いを踏まえたうえで考えている。 | ・作者の挙げる「ありがたきもの」のそれぞれについて，現代との違いを踏まえたうえで考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑩考察・発表 | ・自分にとっての「ありがたきもの」を挙げてその理由とともに文章にまとめ，他者に説明しようとしている。 | ・自分にとっての「ありがたきもの」を挙げてその理由とともに文章にまとめようとしている。 | ・自分にとっての「ありがたきもの」を挙げてその理由とともに文章にまとめようとしていない。 |

■『枕草子』「九月ばかり」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②作品の種類と特徴　 （１）イ | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解し，説明している。 | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解している。 | ・随筆文学としての『枕草子』の特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成と表現　（１）ウエ | ・それぞれの段落における自然描写と作者の感想とを正確に区別し，説明している。 | ・それぞれの段落における自然描写と作者の感想とを正確に区別している。 | ・それぞれの段落における自然描写と作者の感想とを正確に区別していない。 |
| ④現代語との違い  　　　（２）アウ | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解し，その内容を説明している。 | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解している。 | ・古語と現代語で，同じ形だが意味の異なる語について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の形容詞や形容動詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の形容詞や形容動詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の形容詞や形容動詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，適切な現代語訳をしている。  ・「言ひ」の主語を正しく把握し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「言ひ」の主語を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「言ひ」の主語を把握していない。 |
| ⑦表現の特色の理解　読（１）ウ | ・作者が「をかし」と表現した内容とその心情を本文に即して把握し，根拠とともに説明している。 | ・作者が「をかし」と表現した内容とその心情を本文に即して把握している。 | ・作者が「をかし」と表現した内容とその心情を本文に即して把握していない。 |
| ⑧考えの形成  　読（１）オカ | ・末尾の文で表現されている作者の考えを読み取り，その解釈に対する考えを話し合っている。 | ・末尾の文で表現されている作者の考えを読み取っている。 | ・末尾の文で表現されている作者の考えを読み取っていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・自然に対する作者の観察眼の鋭さについて理解するとともに，自分が「をかし」と感じるものについて文章にまとめ，他者に説明しようとしている。 | ・自然に対する作者の観察眼の鋭さについて理解するとともに，自分が「をかし」と感じるものについて文章にまとめようとしている。 | ・自然に対する作者の観察眼の鋭さについて理解するとともに，自分が「をかし」と感じるものについて文章にまとめようとしていない。 |

■『枕草子』「中納言参り給ひて」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②作品の種類と特徴 （１）イウエ | ・『枕草子』の章段の分類の中で，この章段がどれにあてはまるか理解し，根拠とともに説明している。 | ・『枕草子』の章段の分類の中で，この章段がどれにあてはまるか理解している。 | ・『枕草子』の章段の分類の中で，この章段がどれにあてはまるか理解していない。 |
| ③語法理解  （２）アイウ | ・本文中の敬語の意味や用法，敬意の対象などの事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語の意味や用法，敬意の対象などの事項を理解している。 | ・本文中の敬語の意味や用法，敬意の対象などの事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，適切な現代語訳をしている。  ・文中の発言の主体や対象，内容について理解し，根拠とともに説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・文中の発言の主体や対象，内容について理解している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・文中の発言の主体や対象，内容について理解していない。 |
| ⑤文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・登場人物どうしがそれぞれどのような間柄か，会話をもとに理解し，説明している。 | ・登場人物どうしがそれぞれどのような間柄か，会話をもとに理解している。 | ・登場人物どうしがそれぞれどのような間柄か，会話をもとに理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）オカ | ・この出来事を記した理由を述べた作者の心情について，自分の意見や感想を持っている。 | ・この出来事を記した理由を述べた作者の心情について考えている。 | ・この出来事を記した理由を述べた作者の心情について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・作者の発言と，それを受けた隆家の発言のおもしろさはそれぞれどのような点にあるか文章にまとめ，発表などを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・作者の発言と，それを受けた隆家の発言のおもしろさはそれぞれどのような点にあるか文章にまとめようとしている。 | ・作者の発言と，それを受けた隆家の発言のおもしろさはそれぞれどのような点にあるか文章にまとめようとしていない。 |

■『枕草子』「雪のいと高う降りたるを」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴  （１）イウエ | ・この文章の特徴やリズムについて理解し，説明している。 | ・この文章の特徴やリズムについて理解している。 | ・この文章の特徴やリズムについて理解していない。 |
| ③他文化との関係  （２）ア | ・「香炉峰の雪」の脚注について，意味や本文との共通点を理解し，説明している。 | ・「香炉峰の雪」の脚注について，意味や本文との共通点を理解している。 | ・「香炉峰の雪」の脚注について，意味や本文との共通点を理解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイウ | ・本文中の撥音便無表記について理解し，さらに本文で使用されている以外の別の例の知識を得ている。 | ・本文中の撥音便無表記について理解している。 | ・本文中の撥音便無表記について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，適切な現代語訳をしている。  ・どのような場面か，また発言や動作の主体は誰か把握し，根拠とともに説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・どのような場面か，また発言や動作の主体は誰か把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・どのような場面か，また発言や動作の主体は誰か把握していない。 |
| ⑥文章の展開の理解　読（１）ウ | ・「御簾を高く上げたれば」という作者の動作の意図について理解し，説明している。  ・作者の動作に対する定子の心情について理解し，説明している。 | ・「御簾を高く上げたれば」という作者の動作の意図について理解している。  ・作者の動作に対する定子の心情について理解している。 | ・「御簾を高く上げたれば」という作者の動作の意図について理解していない。  ・作者の動作に対する定子の心情について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）オカ | ・「この宮の人には，さべきなめり」という他の女房たちの作者に対する評価について，自分の意見や感想を持っている。 | ・「この宮の人には，さべきなめり」という他の女房たちの作者に対する評価について考えている。 | ・「この宮の人には，さべきなめり」という他の女房たちの作者に対する評価について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・これまで学習した各章段の特徴をまとめ，『枕草子』の内容上の三つの分類それぞれがどういうものか理解するとともに，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・これまで学習した各章段の特徴をまとめ，『枕草子』の内容上の三つの分類それぞれがどういうものか理解しようとしている。 | ・これまで学習した各章段の特徴をまとめ，『枕草子』の内容上の三つの分類それぞれがどういうものか理解しようとしていない。 |

■［言語活動］「現代版『ありがたきもの』を文語で書く」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①語彙  （１）ア | ・古語辞典や，教科書附録の「古文重要語句」を活用し，文語を適切に用いて文章を書いている。 | ・古語辞典や，教科書附録の「古文重要語句」を活用している。 | ・古語辞典や，教科書附録の「古文重要語句」を活用していない。 |
| ②作品の種類と特徴　 （１）イ | ・『枕草子』の「ありがたきもの」の特徴について理解し，説明している。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」の特徴について理解している。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」の特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  　（１）ウエ | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解し，説明している。 | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解している。 | ・「ものづくし」（類聚的章段）とよばれる表現の特色について理解していない。 |
| ④現代語との違い  　　　（２）アウ | ・古語と現代語の意味や形の違いについて理解し，その内容を説明している。 | ・古語と現代語の意味や形の違いについて理解している。 | ・古語と現代語の意味や形の違いについて理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・文語の意味や活用などの文法事項を理解し，さらに自分の文章で使用した以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・文語の意味や活用などの文法事項を理解している。 | ・文語の意味や活用などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥表現の特徴の理解　読（１）ウ | ・『枕草子』の「ありがたきもの」における作者の工夫を理解し,根拠とともに説明している。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」における作者の工夫を理解している。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」における作者の工夫を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）オク | ・『枕草子』の「ありがたきもの」についての分析を通して，価値観や着眼点に対する考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」についての分析を通して，価値観や着眼点に対する考えを広げたり深めたりしている。 | ・『枕草子』の「ありがたきもの」についての分析を通して，価値観や着眼点に対する考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む  態度 | ⑧文章作成・発表・評価 | ・「ありがたきもの」を読んで参考にした点を自分の文章に取り入れて文語で文章を書き，参考にした理由や着眼点を説明しようとしている。  ・各自の書いた現代版「ありがたきもの」を互いに読み合い，観点を明確にして批評しようとしている。 | ・「ありがたきもの」を読んで参考にした点を自分の文章に取り入れて文語で文章を書こうとしている。  ・各自の書いた現代版「ありがたきもの」を互いに読み合い，感想を述べようとしている。 | ・「ありがたきもの」を読んで参考にした点を自分の文章に取り入れて文語で文章を書こうとしていない。  ・各自の書いた現代版「ありがたきもの」を互いに読み合い，感想を述べようとしていない。 |

■『伊勢物語』「初冠」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・歌物語の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成と  展開　（１）ウ | ・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解し，説明している。 | ・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解している。 | ・『伊勢物語』の初段であることを踏まえた文章の構成や展開に着目し，内容を正確に理解していない。 |
| ④表現技法  　　　　（１）エ | ・和歌の修辞を含めた表現技法について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞を含めた表現技法について理解している。 | ・和歌の修辞を含めた表現技法について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「男」の行動を読み取り，根拠とともに説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「男」の行動を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「男」の行動を読み取っていない。 |
| ⑦表現の特徴の理解　読（１）ウ | ・二首の和歌の関係とその意図について理解し，説明している。 | ・二首の和歌の関係とその意図について理解している。 | ・二首の和歌の関係とその意図について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・「男」の行動に対する作者の感想を読み取り，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「男」の行動に対する作者の感想を読み取っている。 | ・「男」の行動に対する作者の感想を読み取っていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取るとともに，自分の考えを深め，他者に説明しようとしている。 | ・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取ろうとしている。 | ・進んで「男」の行動と作者の推測や感想との関係について読み取ろうとしていない。 |

■『伊勢物語』「東下り」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・歌物語の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解していない。 |
| ③文の成分と描写  　　（１）ウ | ・「宇津の山」「富士の山」の描写がどのように和歌に取り入れられているか理解し，説明している。 | ・「宇津の山」「富士の山」の描写がどのように和歌に取り入れられているか理解している。 | ・「宇津の山」「富士の山」の描写がどのように和歌に取り入れられているか理解していない。 |
| ④和歌の表現技法  　　　　（１）エ | ・和歌の修辞について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞について理解している。 | ・和歌の修辞について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞の意味や助詞の用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・それぞれの歌に込められた心情を読み取り，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・それぞれの歌に込められた心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・それぞれの歌に込められた心情を読み取っていない。 |
| ⑦文章の展開の理解  読（１）ウ | ・本文を展開に沿って場面に分け，根拠とともに説明している。  ・どのような場所を，どのように旅したか，具体的に読み取り，説明している。 | ・本文を展開に沿って場面に分けている。  ・どのような場所を，どのように旅したか，具体的に読み取っている。 | ・本文を展開に沿って場面に分けていない。  ・どのような場所を，どのように旅したか，具体的に読み取っていない。 |
| ⑧考えの形成  　読（１）カ | ・「男」一行の「東下り」の旅に対する認識について，当時の交通状況を把握しながら自分の考えを深め，話し合っている。 | ・「男」一行の「東下り」の旅に対する認識について，当時の交通状況を把握しながら自分の考えを深めている。 | ・「男」一行の「東下り」の旅に対する認識について，当時の交通状況を把握しながら自分の考えを深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・「東下り」の旅について，自分の見聞きしたことや経験を踏まえての考察を文章にまとめ，発表しようとしている。 | ・「東下り」の旅について，自分の見聞きしたことや経験を踏まえての考察を文章にまとめようとしている。 | ・「東下り」の旅について，自分の見聞きしたことや経験を踏まえての考察を文章にまとめようとしていない。 |

■『伊勢物語』「渚の院」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴と成分 （１）イウ | ・歌物語の文章の特徴について理解し，その内容を説明している。  ・贈答歌について理解し，説明している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解している。  ・贈答歌について理解している。 | ・歌物語の文章の特徴について理解していない。  ・贈答歌について理解していない。 |
| ③和歌の表現  　　　　（１）エ | ・それぞれの贈答歌における表現の工夫について理解し，その内容を説明している。 | ・それぞれの贈答歌における表現の工夫について理解している。 | ・それぞれの贈答歌における表現の工夫について理解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞や係り結びなどの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や係り結びなどの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞や係り結びなどの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・それぞれの歌には，誰あるいは何に対するどのような心情が込められているか読み取り，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・それぞれの歌には，誰あるいは何に対するどのような心情が込められているか読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・それぞれの歌には，誰あるいは何に対するどのような心情が込められているか読み取っていない。 |
| ⑥文章の展開の理解　読（１）ウ | ・登場人物に起きた出来事を時系列に沿って理解し，説明している。 | ・登場人物に起きた出来事を時系列に沿って理解している。 | ・登場人物に起きた出来事を時系列に沿って理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・この文章で描かれた桜への思いについて，自分の意見や感想を持っている。 | ・この文章で描かれた桜への思いについて考えている。 | ・この文章で描かれた桜への思いについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・惟喬親王と右馬頭との関係がどのようなものかについて文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。  ・これまで学習した教材から『伊勢物語』全体の構成の特徴について考察し，発表しようとしている。 | ・惟喬親王と右馬頭との関係がどのようなものかについて文章にまとめようとしている。  ・これまで学習した教材から『伊勢物語』全体の構成の特徴について考察しようとしている。 | ・惟喬親王と右馬頭との関係がどのようなものかについて文章にまとめようとしていない。  ・これまで学習した教材から『伊勢物語』全体の構成の特徴について考察しようとしていない。 |

■『大和物語』「姨捨」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 （１）イ | ・歌物語としての『大和物語』の特徴を，『伊勢物語』と比較して理解し，説明している。 | ・歌物語としての『大和物語』の特徴を，『伊勢物語』と比較して理解している。 | ・歌物語としての『大和物語』の特徴を，『伊勢物語』と比較して理解していない。 |
| ③文章の構成と  展開　（１）ウ | ・場面を確認しながら文章の展開に着目し，内容を正確に理解し，説明している。 | ・場面を確認しながら文章の展開に着目し，内容を正確に理解している。 | ・場面を確認しながら文章の展開に着目し，内容を正確に理解していない。 |
| ④表現技法  　　　　（１）エ | ・文章の表現技法について理解し，込められた心情とともに説明している。 | ・文章の表現技法について理解している。 | ・文章の表現技法について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・係助詞の用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の係助詞の知識を得ている。 | ・係助詞の用法を理解している。 | ・係助詞の用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「姨捨」の風習について理解し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・「姨捨」の風習について理解している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・「姨捨」の風習について理解していない。 |
| ⑦文章の展開の理解　読（１）ウ | ・文章の展開において和歌が果たしている役割について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の展開において和歌が果たしている役割について理解している。 | ・文章の展開において和歌が果たしている役割について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・「をば」を山に捨てるまでの「男」の心情の変化を理解し，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「をば」を山に捨てるまでの「男」の心情の変化を理解している。 | ・「をば」を山に捨てるまでの「男」の心情の変化を理解していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・古典における和歌の効用について調べたことや自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。  ・各地に伝わる姨捨伝説について調べ，自分の考えを他者に説明しようとしている。 | ・古典における和歌の効用について調べたことや自分の考えを文章にまとめようとしている。  ・各地に伝わる姨捨伝説について調べ，考えようとしている。 | ・古典における和歌の効用について調べたことや自分の考えを文章にまとめようとしていない。  ・各地に伝わる姨捨伝説について調べ，考えようとしていない。 |

■［言語活動］「言葉の変遷を調べる」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古典の語彙と表　　現（１）アウエ | ・これまで学習した古文の語句の中で，印象に残っているものを挙げ，理由とともに説明している。  ・日常生活で使われている表現で，これまで学習した古文に出てきたものを挙げ，説明している。 | ・これまで学習した古文の語句の中で，印象に残っているものを挙げている。  ・日常生活で使われている表現で，これまで学習した古文に出てきたものを挙げている。 | ・これまで学習した古文の語句の中で，印象に残っているものを挙げていない。  ・日常生活で使われている表現で，これまで学習した古文に出てきたものを挙げていない。 |
| ②古典常識  　（１）イ | ・季語，月の異名，十二支などについて知識を得，概要を説明している。 | ・季語，月の異名，十二支などについて知識を得ている。 | ・季語，月の異名，十二支などについて知識を得ていない。 |
| ③古今異義語  　（２）アイウ | ・古今異義語について知識を得，概要を説明している。 | ・古今異義語について知識を得ている。 | ・古今異義語について知識を得ていない。 |
| ④資料の活用  　　　（２）ウエ | ・調べる目的に応じて古語辞典等の資料を活用する方法について理解し，説明している。 | ・調べる目的に応じて古語辞典等の資料を活用する方法について理解している。 | ・調べる目的に応じて古語辞典等の資料を活用する方法について理解していない。 |
| 思考・判断・  表現 | ⑤考えの形成  読（１）キク | ・古今異義語，季節や暦に関する言葉，現代語の中に生きている古語などのさまざまなテーマの中から，古語と現代語とを比較するための切り口を考えて選び，理由とともに説明している。 | ・古今異義語，季節や暦に関する言葉，現代語の中に生きている古語などのさまざまなテーマの中から，古語と現代語とを比較するための切り口を考えて選んでいる。 | ・古今異義語，季節や暦に関する言葉，現代語の中に生きている古語などのさまざまなテーマの中から，古語と現代語とを比較するための切り口を考えて選んでいない。 |
| 主体的に  学習に取り組  む態度 | ⑥比較・考察・  発表 | ・選んだテーマに沿って古語と現代語とをその時代の社会的背景と関連させながら比較し，分かったことや考えたことを説明しようとしている。  ・言葉の変遷について調べたことや自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通して言葉の特質に対する自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・選んだテーマに沿って古語と現代語とをその時代の社会的背景と関連させながら比較しようとしている。  ・言葉の変遷について調べたことや自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・選んだテーマに沿って古語と現代語とをその時代の社会的背景と関連させながら比較しようとしていない。  ・言葉の変遷について調べたことや自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『大鏡』「道真の左遷」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『大鏡』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）ウエ | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解し，説明している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解していない。 |
| ④文法理解  　　（２）アイ | ・本文中の敬語の意味や用法などの事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語の意味や用法などの事項を理解している。 | ・本文中の敬語の意味や用法などの事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・道真の和歌に込められた心情について理解し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・道真の和歌に込められた心情について理解している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・道真の和歌に込められた心情について理解していない。 |
| ⑥文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・道真が左遷された理由と経緯について理解し，内容を説明している。 | ・道真が左遷された理由と経緯について理解している。 | ・道真が左遷された理由と経緯について理解していない。 |
| ⑦作品の背景  　 読（１）エ | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察し，説明している。 | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察している。 | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・それぞれの登場人物に対する語り手の評価について考察し，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・それぞれの登場人物に対する語り手の評価について考察している。 | ・それぞれの登場人物に対する語り手の評価について考察していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・道真に対する語り手やそれぞれの登場人物の評価を読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・道真に対する語り手やそれぞれの登場人物の評価を読み取って伝えようとしている。 | ・道真に対する語り手やそれぞれの登場人物の評価を読み取って伝えようとしていない。 |

■『大鏡』「三船の才」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『大鏡』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）ウエ | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解し，説明している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解していない。 |
| ④文法理解  　　（２）アイ | ・本文中の助動詞や助詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・公任が後悔している事柄と理由を把握し，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・公任が後悔している事柄と理由を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・公任が後悔している事柄と理由を把握していない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・「小倉山…」の歌の修辞と意味を理解し，内容を説明している。 | ・「小倉山…」の歌の修辞と意味を理解している。 | ・「小倉山…」の歌の修辞と意味を理解していない。 |
| ⑦作品の背景  　 読（１）エ | ・道長と公任の関係や,公任の事績について理解し，説明している。 | ・道長と公任の関係や,公任の事績について理解している。 | ・道長と公任の関係や,公任の事績について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・公任の人物像を読み取り,この催しにおける公任の心情について考察し,それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・公任の人物像を読み取り,この催しにおける公任の心情について考察している。 | ・公任の人物像を読み取り,この催しにおける公任の心情について考察していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察し，話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。 | ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察しようとしている。 | ・公任が他の船に乗った場合どうなったか考察しようとしていない。 |

■『大鏡』「道長，伊周の競射」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『大鏡』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解している。 | ・『大鏡』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）ウエ | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解し，説明している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解している。 | ・『大鏡』の叙述方法の特徴とその効果について理解していない。 |
| ④文法理解  　　（２）アイ | ・本文中の助詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の助詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・道長，道隆，伊周の関係とそれぞれの人物像を整理し，説明している。  ・勝負が決した後の道隆の心情を読み取り，内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・道長，道隆，伊周の関係とそれぞれの人物像を整理している。  ・勝負が決した後の道隆の心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・道長，道隆，伊周の関係とそれぞれの人物像を整理していない。  ・勝負が決した後の道隆の心情を読み取っていない。 |
| ⑥文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・競射の展開について整理し，内容を説明している。 | ・競射の展開について整理している。 | ・競射の展開について整理していない。 |
| ⑦作品の背景  　 　　読（１）エ | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察し，説明している。 | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察している。 | ・リード文を参考に登場人物の政治的立場を考察していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・道隆と道長の関係性について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・道隆と道長の関係性について考えている。 | ・道隆と道長の関係性について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・冒頭に「帥殿」とあることなどから伊周のその後について読み取って伝えるとともに，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・冒頭に「帥殿」とあることなどから伊周のその後について読み取って伝えようとしている。 | ・冒頭に「帥殿」とあることなどから伊周のその後について読み取って伝えようとしていない。 |

■［言語活動］「道真伝説を調べる」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古典関連語彙  　　（１）ア | ・「怨霊」「天神」「天満宮」などの語句を理解し，意味や使われ方，内容や背景の知識を得ている。 | ・「怨霊」「天神」「天満宮」などの語句を理解している。 | ・「怨霊」「天神」「天満宮」などの語句を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ②考えの形成  読（１）キク | ・菅原道真にまつわる多様な伝説から興味を引かれるものを選び自ら課題を設定することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，その内容を説明している。  ・登場人物という観点を意識して古典の文章を読むことで，古典の文章を多面的・多角的に評価し，その内容を説明している。 | ・菅原道真にまつわる多様な伝説から興味を引かれるものを選び自ら課題を設定することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。  ・登場人物という観点を意識して古典の文章を読むことで，古典の文章を多面的・多角的に評価している。 | ・菅原道真にまつわる多様な伝説から興味を引かれるものを選び自ら課題を設定することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。  ・登場人物という観点を意識して古典の文章を読むことで，古典の文章を多面的・多角的に評価していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ③調査・レポート | ・調べたい事柄を設定し，資料を活用して調べ，調査結果を効果的に表現する形態を選択してまとめることを通して，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めようとしている。 | ・調べたい事柄を設定し，資料を活用して調べ，調査結果を効果的に表現する形態を選択してまとめようとしている。 | ・調べたい事柄を設定し，資料を活用して調べ，調査結果を効果的に表現する形態を選択してまとめようとしていない。 |

■『袋草紙』「能因と節信」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・『袋草紙』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『袋草紙』の概要や特徴について理解している。 | ・『袋草紙』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・「言はく」「云々」などの表現の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・「言はく」「云々」などの表現の特色について理解している。 | ・「言はく」「云々」などの表現の特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解している。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・第一段落～第三段落のそれぞれの内容を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・第一段落～第三段落のそれぞれの内容を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・第一段落～第三段落のそれぞれの内容を把握していない。 |
| ⑦内容の解釈  　 読（１）エ | ・第一段落と第二段落の内容に共通する点について理解し，その内容を説明している。 | ・第一段落と第二段落の内容に共通する点について理解している。 | ・第一段落と第二段落の内容に共通する点について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）オ | ・能因の「すき給へ。すきぬれば，秀歌は詠む。」という言葉について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・能因の「すき給へ。すきぬれば，秀歌は詠む。」という言葉について考えている。 | ・能因の「すき給へ。すきぬれば，秀歌は詠む。」という言葉について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・能因（数寄者）のものの見方，感じ方，考え方について自分の考えを伝え，話し合いを通してそれをさらに深めようとしている。 | ・能因（数寄者）のものの見方，感じ方，考え方について，自分の考えを伝えようとしている。 | ・能因（数寄者）のものの見方，感じ方，考え方について，自分の考えを伝えようとしていない。 |

■『無名抄』「出で映えすべき歌のこと」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・『無名抄』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『無名抄』の概要や特徴について理解している。 | ・『無名抄』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・和歌の修辞や特色について理解し，その内容を説明している。 | ・和歌の修辞や特色について理解している。 | ・和歌の修辞や特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解している。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・頼政の歌と能因の歌の類似点と相違点を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・頼政の歌と能因の歌の類似点と相違点を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・頼政の歌と能因の歌の類似点と相違点を把握していない。 |
| ⑦内容の解釈  　 読（１）エ | ・頼政が事前に俊恵に歌を見せた理由について理解し，その内容を説明している。 | ・頼政が事前に俊恵に歌を見せた理由について理解している。 | ・頼政が事前に俊恵に歌を見せた理由について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・俊恵が「あいなくよそにて胸つぶれ侍りし」と思った理由について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・俊恵が「あいなくよそにて胸つぶれ侍りし」と思った理由について考えている。 | ・俊恵が「あいなくよそにて胸つぶれ侍りし」と思った理由について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・能因の歌と比較して，頼政の歌が「出で映え」する点について，自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・能因の歌と比較して，頼政の歌が「出で映え」する点について，自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・能因の歌と比較して，頼政の歌が「出で映え」する点について，自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■「古今和歌集仮名序」「やまと歌は」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・「古今和歌集仮名序」の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・「古今和歌集仮名序」の概要や特徴について理解している。 | ・「古今和歌集仮名序」の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・本文中に用いられている対句表現について理解し，その内容を説明している。 | ・本文中に用いられている対句表現について理解している。 | ・本文中に用いられている対句表現について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解している。 | ・本文中の助動詞や助詞の意味・用法，係り結びなどの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・和歌とはどのようなものだと述べられているかを把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・和歌とはどのようなものだと述べられているかを把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・和歌とはどのようなものだと述べられているかを把握していない。 |
| ⑦文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・歌の本質や効用について理解し，その内容を説明している。 | ・歌の本質や効用について理解している。 | ・歌の本質や効用について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）オ | ・歌の本質や効用について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・歌の本質や効用について考えている。 | ・歌の本質や効用について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・話し合い | ・本文に述べられた歌の本質や効用について，思ったことや考えたことを伝え，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・本文に述べられた歌の本質や効用について，思ったことや考えたことを伝えようとしている。 | ・本文に述べられた歌の本質や効用について，思ったことや考えたことを伝えようとしていない。 |

■『源氏物語』「光源氏の誕生」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・『源氏物語』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『源氏物語』の概要や特徴について理解している。 | ・『源氏物語』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）ウエ | ・物語の冒頭の特徴とその効果について理解し，説明している。 | ・物語の冒頭の特徴とその効果について理解している。 | ・物語の冒頭の特徴とその効果について理解していない。 |
| ④文法理解  　　（２）アイ | ・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の敬語や助動詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| ⑤古典の言葉  （２）ウ | ・意味の似ている語がどのように変化し使い分けられているかについて理解し，説明している。 | ・意味の似ている語がどのように変化し使い分けられているかについて理解している。 | ・意味の似ている語がどのように変化し使い分けられているかについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取り，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・物語全体の主人公である光源氏がどのような状況の中で誕生したのか読み取っていない。 |
| ⑦文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取り，内容を説明している。 | ・登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取っている。 | ・登場人物の関係を整理してそれぞれの心情を読み取っていない。 |
| ⑧他の作品との関係　 読（１）エ | ・帝の，桐壺の更衣への寵愛ぶりが「楊貴妃」にたとえられている理由を考察し，説明している。 | ・帝の，桐壺の更衣への寵愛ぶりが「楊貴妃」にたとえられている理由を考察している。 | ・帝の，桐壺の更衣への寵愛ぶりが「楊貴妃」にたとえられている理由を考察していない。 |
| ⑨考えの形成  読（１）カク | ・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか，自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか，自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・光源氏の誕生の状況設定がその後の物語の展開にどのように影響するのか，自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑩考察・話し合い | ・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し，『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察し，話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。 | ・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し，『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察しようとしている。 | ・これまでの学習の中で『源氏物語』について言及していた作品を確認し，『源氏物語』のどのような部分が他の作品に影響しているのか考察しようとしていない。 |

■『源氏物語』「若紫」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・若紫の様子を表す描写に着目し，その特徴を把握し，説明している。 | ・若紫の様子を表す描写に着目し，その特徴を把握している。 | ・若紫の様子を表す描写に着目し，その特徴を把握していない。 |
| ③表現の特色  （１）ウエ | ・誰の視点で描かれているか，「光源氏の誕生」との視点の違いについて理解し，その内容を説明している。 | ・誰の視点で描かれているか，「光源氏の誕生」との視点の違いについて理解している。 | ・誰の視点で描かれているか，「光源氏の誕生」との視点の違いについて理解していない。 |
| ④文法理解  　　（２）アイ | ・本文中の敬語や係助詞の意味や用法などの文法事項を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の敬語や係助詞の意味や用法などの文法事項を理解している。 | ・本文中の敬語や係助詞の意味や用法などの文法事項を理解していない。 |
| ⑤古典の言葉  （２）ウ | ・人物描写の語彙が現代語とどのように異なるかについて理解し，説明している。 | ・人物描写の語彙が現代語とどのように異なるかについて理解している。 | ・人物描写の語彙が現代語とどのように異なるかについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取り，説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取っている。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取っていない。 |
| ⑦文章の展開の理解　 読（１）ウ | ・光源氏が若紫を見いだした経緯と，若紫に対する心情の変化を読み取り，内容を説明している。 | ・光源氏が若紫を見いだした経緯と，光源氏の若紫に対する心情の変化を読み取っている。 | ・光源氏が若紫を見いだした経緯と，光源氏の若紫に対する心情の変化を読み取っていない。 |
| ⑧他の作品との関係　 読（１）エ | ・土佐光吉の絵における，本文の登場人物の位置を把握し，説明している。 | ・土佐光吉の絵における，本文の登場人物の位置を把握している。 | ・土佐光吉の絵における，本文の登場人物の位置を把握していない。 |
| ⑨考えの形成  読（１）カク | ・その後の若紫がたどる運命に対しての自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・その後の若紫がたどる運命に対しての自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・その後の若紫がたどる運命に対しての自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑩比較・話し合い | ・本文からイメージされた各登場人物の様子と土佐光吉の絵に描かれた像を比較して相違点を文章にまとめ，話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。 | ・本文からイメージされた各登場人物の様子と土佐光吉の絵に描かれた像を比較して相違点を文章にまとめようとしている。 | ・本文からイメージされた各登場人物の様子と土佐光吉の絵に描かれた像を比較して相違点を文章にまとめようとしていない。 |

■「『源氏物語』―現代語訳の世界」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文章の種類と特徴　 　（１）イ | ・本文中に挙げられたそれぞれの『源氏物語』現代語訳の時代や作者について理解し，説明している。 | ・本文中に挙げられたそれぞれの『源氏物語』現代語訳の時代や作者について理解している。 | ・本文中に挙げられたそれぞれの『源氏物語』現代語訳の時代や作者について理解していない。 |
| ②現代語訳読書の効用　（２）アエ | ・古典文学の現代語訳を複数読むことが，先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにすることを理解し，根拠とともに説明している。 | ・古典文学の現代語訳を複数読むことが，先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにすることを理解している。 | ・古典文学の現代語訳を複数読むことが，先人のものの見方，感じ方，考え方に親しみ，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにすることを理解していない。 |
| ③言葉の変化  （２）ウ | ・『源氏物語』「桐壺」の原文とそれぞれの現代語訳とを比較し，語彙が現代語とどのように異なるかについて理解し，説明している。 | ・『源氏物語』「桐壺」の原文とそれぞれの現代語訳とを比較し，語彙が現代語とどのように異なるかについて理解している。 | ・『源氏物語』「桐壺」の原文とそれぞれの現代語訳とを比較し，語彙が現代語とどのように異なるかについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④考えの形成  読（１）ク | ・本文中に挙げられた『源氏物語』現代語訳を読み比べて相違点について分析し，それぞれの現代語訳の特徴について自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・本文中に挙げられた『源氏物語』現代語訳を読み比べて相違点について分析し，それぞれの現代語訳の特徴について自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・本文中に挙げられた『源氏物語』現代語訳を読み比べて相違点について分析し，それぞれの現代語訳の特徴について自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑤調査・考察・発表 | ・『源氏物語』の現代語訳や各国語訳，メディア化などについて調べ，古典作品が時代や国を越えて読まれる理由や意義について考察を文章にまとめ，発表を通して自らの考えを深めようとしている。 | ・『源氏物語』の現代語訳や各国語訳，メディア化などについて調べ，古典作品が時代や国を越えて読まれる理由や意義について考察を文章にまとめようとしている。 | ・『源氏物語』の現代語訳や各国語訳，メディア化などについて調べ，古典作品が時代や国を越えて読まれる理由や意義について考察を文章にまとめようとしていない。 |

■「近世俳句抄」「芭蕉」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・俳諧の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・俳諧の表現技法の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・俳諧中の助詞の意味・用法などの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・俳諧中の助詞の意味・用法などの文法事項について理解している。 | ・俳諧中の助詞の意味・用法などの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・それぞれの句の季語と季節を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・それぞれの句の季語と季節を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・それぞれの句の季語と季節を把握していない。 |
| ⑦表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・レポート | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉えて鑑賞文を書き，他者の文章を読むことを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしていない。 |

■「近世俳句抄」「蕪村」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・俳諧の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・俳諧の表現技法の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解している。 | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・それぞれの句の季語と季節を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・それぞれの句の季語と季節を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・それぞれの句の季語と季節を把握していない。 |
| ⑦表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えていない。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ⑨考察・レポート | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉えて鑑賞文を書き，他者の文章を読むことを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしていない。 |

■「近世俳句抄」「一茶」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の種類と特徴　　 （１）イ | ・俳諧の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解している。 | ・俳諧の概要や特徴について理解していない。 |
| ③文章の構成や展開 （１）ウ | ・文章の構成や展開の仕方について理解し，その内容を説明している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解している。 | ・文章の構成や展開の仕方について理解していない。 |
| ④表現の特色  （１）エ | ・俳諧の表現技法の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解していない。 |
| ⑤文法理解  （２）アイ | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解し，さらに別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解している。 | ・俳諧中の助動詞や助詞の意味・用法などの文法事項について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・それぞれの句の季語と季節を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・それぞれの句の季語と季節を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・それぞれの句の季語と季節を把握していない。 |
| ⑦表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解し，根拠とともに説明している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解している。 | ・それぞれの句において，季語がどのようなイメージや情感で詠まれているかを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えている。 | ・それぞれの句に詠み込まれた情景や心情について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・レポート | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉えて鑑賞文を書き，他者の文章を読むことを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしている。 | ・俳諧に詠み込まれた情景や心情を捉え，鑑賞文を書こうとしていない。 |

■『去来抄』ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴と構成　 （１）イウ | ・俳論の特徴や文章の構成について理解し，その内容を説明している。 | ・俳論の特徴や文章の構成について理解している。 | ・俳論の特徴や文章の構成について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）エ | ・俳諧の表現技法の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイ | ・本文中の副詞の係り受けについて理解し，その内容を説明している。 | ・本文中の副詞の係り受けについて理解している。 | ・本文中の副詞の係り受けについて理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・どのようなことが問題になっているのかを把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・どのようなことが問題になっているのかを把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・どのようなことが問題になっているのかを把握していない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・「岩鼻や…」の句について，去来の意図と芭蕉の解釈との違いを理解し，その内容を説明している。 | ・「岩鼻や…」の句について，去来の意図と芭蕉の解釈との違いを理解している。 | ・「岩鼻や…」の句について，去来の意図と芭蕉の解釈との違いを理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）ク | ・「まことに作者その心を知らざりけり。」とは，どのようなことをいっているのかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「まことに作者その心を知らざりけり。」とは，どのようなことをいっているのかについて考えている。 | ・「まことに作者その心を知らざりけり。」とは，どのようなことをいっているのかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・これまでに学習したことを踏まえ，芭蕉の教えについて思ったことや考えたことを文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・これまでに学習したことを踏まえ，芭蕉の教えについて思ったことや考えたことを文章にまとめようとしている。 | ・これまでに学習したことを踏まえ，芭蕉の教えについて思ったことや考えたことを文章にまとめようとしていない。 |

■『三冊子』ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴と構成　 （１）イウ | ・俳論の特徴や文章の構成について理解し，その内容を説明している。 | ・俳論の特徴や文章の構成について理解している。 | ・俳論の特徴や文章の構成について理解していない。 |
| ③表現の特色  （１）エ | ・俳諧の表現技法の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解している。 | ・俳諧の表現技法の特色について理解していない。 |
| ④文法理解  （２）アイ | ・本文中の形容詞の意味・用法について理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の形容詞の意味・用法について理解している。 | ・本文中の形容詞の意味・用法について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・どのようなことが論点となっているかを把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・どのようなことが論点となっているかを把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・どのようなことが論点となっているかを把握していない。 |
| ⑥内容の解釈  　 読（１）エ | ・本文に引用された芭蕉の二句に詠まれた情景について理解し，その内容を説明している。  ・俳諧の特性と「俳諧の誠」について理解し，その内容を説明している。 | ・本文に引用された芭蕉の二句に詠まれた情景について理解している。  ・俳諧の特性と「俳諧の誠」について理解している。 | ・本文に引用された芭蕉の二句に詠まれた情景について理解していない。  ・俳諧の特性と「俳諧の誠」について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・作者がどのような点に俳諧の特性があると述べているかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・作者がどのような点に俳諧の特性があると述べているかについて考えている。 | ・作者がどのような点に俳諧の特性があると述べているかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・本文に述べられた俳諧の特性や「俳諧の誠」について，思ったことや考えたことを文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・本文に述べられた俳諧の特性や「俳諧の誠」について，思ったことや考えたことを文章にまとめようとしている。 | ・本文に述べられた俳諧の特性や「俳諧の誠」について，思ったことや考えたことを文章にまとめようとしていない。 |

■『古事記』「倭建命」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①古文重要語句  （１）ア | ・本文中の古文重要語句や用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や使われ方の知識を得ている。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解している。 | ・本文中の古文重要語句の意味や用法を理解していない。 |
| ②文章の特徴と構成　 （１）イウ | ・上代の文学の特徴や，文章の構成について理解し，その内容を説明している。 | ・上代の文学の特徴や，文章の構成について理解している。 | ・上代の文学の特徴や，文章の構成について理解していない。 |
| ③表現の特色と文法理解  （１）エ（２）アイ | ・上代特有の表現や言葉について理解し，その内容を説明している。  ・歌謡の表現の特色について理解し，その内容を説明している。 | ・上代特有の表現や言葉について理解している。  ・歌謡の表現の特色について理解している。 | ・上代特有の表現や言葉について理解していない。  ・歌謡の表現の特色について理解していない。 |
| ④言葉の変化や成り立ち　 （２）ウ | ・言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解し，その内容を説明している。 | ・言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。 | ・言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・倭建命がたどった道筋や，それぞれの地で取った行動を把握し，その内容を説明している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳している。  ・倭建命がたどった道筋や，それぞれの地で取った行動を把握している。 | ・現代語訳する際の注意点を踏まえて本文を逐語訳していない。  ・倭建命がたどった道筋や，それぞれの地で取った行動を把握していない。 |
| ⑥表現の特色の理解　 読（１）ウ | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情を理解し，その内容を説明している。 | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情を理解している。 | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カク | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情について考えている。 | ・能煩野の地で歌われた四首の歌謡に表れた心情について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・倭建命が白鳥となり，飛んでいったという伝承に表れた，古代の人々の心情について自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・倭建命が白鳥となり，飛んでいったという伝承に表れた，古代の人々の心情について自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・倭建命が白鳥となり，飛んでいったという伝承に表れた，古代の人々の心情について自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『小話―四編』「蛇足」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『戦国策』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『戦国策』とその編者について，知識を深めている。 | ・『戦国策』とその編者について，知識を深めていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し  （１）ア，（２）イウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④古典の現代への影響  （２）アウ | ・現代の日本社会で用いられる「蛇足」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について正しく理解を深めている。 | ・現代の日本社会で用いられる「蛇足」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について考えようとしている。 | ・現代の日本社会で用いられる「蛇足」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことは理解しているが，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響については考えようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「為蛇足者」が酒を飲めなかった理由を正しく理解している。 | ・「為蛇足者」が酒を飲めなかった理由をおおよそ理解している。 | ・「為蛇足者」が酒を飲めなかった理由を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）キ | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・物語の展開のおもしろさを理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧短文作成・発表 | ・「蛇足」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成するとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「蛇足」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしている。 | ・「蛇足」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしていない。 |

■『小話―四編』「断腸」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『世説新語』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『世説新語』とその編者について，知識を深めている。 | ・『世説新語』とその編者について，知識を深め　ていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し　　ていない。 |
| ③句法・書き下し  （１）ア，（２）イウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④古典の現代への影響  （２）アウ | ・現代の日本社会で用いられる「断腸」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について正しく理解を深めている。 | ・現代の日本社会で用いられる「断腸」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について考えようとしている。 | ・現代の日本社会で用いられる「断腸」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことは理解しているが，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響については考えようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥文章の展開の理解  読（１）ウ | ・桓公が「得猿子者」を罷免した理由を正しく理解している。 | ・桓公が「得猿子者」を罷免した理由をおおよそ理解している。 | ・桓公が「得猿子者」を罷免した理由を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）キ | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・物語の展開のおもしろさを理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧短文作成・発表 | ・「断腸」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成するとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「断腸」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしている。 | ・「断腸」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしていない。 |

■『小話―四編』「知音」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『呂氏春秋』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『呂氏春秋』とその編者について，知識を深めている。 | ・『呂氏春秋』とその編者について，知識を深め　　ていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し　　ていない。 |
| ③句法・書き下し  （１）ア，（２）イウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④古典の現代への影響  （２）アウ | ・現代の日本社会で用いられる「知音」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について正しく理解を深めている。 | ・現代の日本社会で用いられる「知音」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことに注目し，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響について考えようとしている。 | ・現代の日本社会で用いられる「知音」という言葉が古代中国の逸話から生まれたことは理解しているが，日本と中国の文化交流や，古典が現代の言葉に与えた影響については考えようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥文章の展開の理解  読（１）ウ | ・伯牙が琴を壊し弦を断ち切った理由を正しく理解している。 | ・伯牙が琴を壊し弦を断ち切った理由をおおよそ理解している。 | ・伯牙が琴を壊し弦を断ち切った理由を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）キ | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・物語の展開のおもしろさを理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧短文作成・発表 | ・「知音」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成するとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「知音」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしている。 | ・「知音」という故事成語が現代の日本語ではどのように使われるのかを確認し，短文を作成しようとしていない。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『五雑組』とその作者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『五雑組』とその作者について，知識を深めている。 | ・『五雑組』とその作者について，知識を深めていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し  （１）ア，（２）イウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④古典の現代への影響  （２）アウ | ・日本で一般に親しまれている古典落語「饅頭こわい」が，中国の話をもとに作られていることに注目し，日本と中国の文化交流や，日本人の漢文の受容の仕方について正しく理解を深めている。 | ・日本で一般に親しまれている古典落語「饅頭こわい」が，中国の話をもとに作られていることに注目し，日本と中国の文化交流や，日本人の漢文の受容の仕方について考えようとしている。 | ・日本で一般に親しまれている古典落語「饅頭こわい」が，中国の話をもとに作られていることに注目しているが，日本と中国の文化交流や，日本人の漢文の受容の仕方については考えようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「窮書生」が饅頭を食べるために考えた計略の内容とその効果について正しく理解している。 | ・「窮書生」が饅頭を食べるために考えた計略の内容について理解している。 | ・「窮書生」が饅頭を食べるために考えた計略の内容とその効果について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）キ | ・物語の展開のおもしろさを自分で見つけ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・物語の展開のおもしろさを理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・物語の展開のおもしろさを理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧調査・発表 | ・漢文が話の筋に関わる古典落語について調べ，発表を行うとともに，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・漢文が話の筋に関わる古典落語について調べ，発表を行おうとしている。 | ・漢文が話の筋に関わる古典落語について調べ，発表を行おうとしていない。 |

■『小話―四編』「畏饅頭」ルーブリック例

■『唐詩―八首』「宿建徳江／勧酒／静夜思」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①作者についての理解  （１）イ | ・活躍した時代と作風，詩の評価について正しく理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④唐詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・唐詩の形式ときまりを正確に理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解せず，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，漢詩の起承転結における展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを，根拠を明確にして理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・起承転結の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解して暗唱していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・自分が読み取った漢詩の内容を表すのにふさわしい表現方法で，訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめるとともに，他者の文章を読むことを通して，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしていない。 |

■『唐詩―八首』「磧中作／送元二使安西／登岳陽楼」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①作者についての理解  （１）イ | ・活躍した時代と作風，詩の評価について正しく理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④唐詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・唐詩の形式ときまりを正確に理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解せず，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，漢詩の展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを，根拠を明確にして理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・漢詩の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解して暗唱していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・自分が読み取った漢詩の内容を表すのにふさわしい表現方法で，訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめるとともに，他者の文章を読むことを通して，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしていない。 |

■『唐詩―八首』「登高／八月十五日夜、禁中独直、対月憶元九」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①作者についての理解  （１）イ | ・活躍した時代と作風，詩の評価について正しく理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④唐詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・唐詩の形式ときまりを正確に理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解し，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 | ・唐詩の形式ときまりを理解せず，朗読や暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，漢詩の展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを，根拠を明確にして理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・詩の情景や，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・漢詩の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解して暗唱していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・自分が読み取った漢詩の内容を表すのにふさわしい表現方法で，訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成している。 | ・自分で訳詩を作成していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめるとともに，他者の文章を読むことを通して，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしている。 | ・印象に残った詩を挙げ，どこが印象的であるかを文章にまとめようとしていない。 |

■『文―二編』「雑説」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②句法・書き下し文  （１）アウ，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ③先人の考えの理解  （２）エ | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」が何を比喩しているのか正しく理解している。 | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」が何を比喩しているのかおおよそ理解している。 | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」が何を比喩しているのか理解しようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑤文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」という比喩を用いて韓愈が言おうとしたことを正しく理解している。 | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」という比喩を用いて韓愈が言おうとしたことをおおよそ理解している。 | ・「伯楽」と「千里馬（名馬）」という比喩を用いて韓愈が言おうとしたことを理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考えて，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考えて，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めようとしている。 | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考え，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦話し合い・発表 | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考えて，話し合うとともに，他者の意見を聞いて自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考えて，話し合おうとしている。 | ・「雑説」の内容について，現代に通じる点を考えて，話し合おうとしていない。 |

■『文―二編』「桃花源記」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②句法・書き下し文  （１）アウ，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ③先人の考えの理解  （２）エ | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いを，正しく理解している。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いを，おおよそ理解している。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いを理解しようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑤文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品で伝えようとしたことを，正しく理解している。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品で伝えようとしたことを，おおよそ理解している。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品で伝えようとしたことを，理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えるとともに，自らが考える理想郷について考えを深め，その内容を説明している。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えるとともに，自らが考える理想郷について考えをまとめようとしている。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えるとともに，自らが考える理想郷について考えをまとめようとしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦話し合い・発表 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えて，話し合うとともに，他者の意見を聞いて自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えて，話し合おうとしている。 | ・「桃花源記」の作者陶潜がこの作品を書いた思いについて考えて話し合おうとしていない。 |

■『項羽と劉邦』「鴻門之会」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『史記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④読書の意義と効用  　 　　　（２）エ | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理し，その内容を説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・登場人物を項羽側と沛公側とに分けて整理していない。 |
| ⑥内容の解釈  読（１）エ | ・登場人物のはたらきについて理解し，その内容を説明している。  ・「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解し，その内容を説明している。 | ・登場人物のはたらきについて理解している。  ・「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解している。 | ・登場人物のはたらきについて理解していない。  ・「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・沛公が無事に脱出することができた理由について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・沛公が無事に脱出することができた理由について考えている。 | ・沛公が無事に脱出することができた理由について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『項羽と劉邦』「四面楚歌」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『史記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握し，その内容を説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・項羽の軍が四面楚歌の状態であることを把握していない。 |
| ⑥内容の解釈  読（１）エ | ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解し，根拠とともに説明している。 | ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解している。 | ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・「力抜山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「力抜山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考えている。 | ・「力抜山兮気蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめ，発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。 | ・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめようとしている。 | ・四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめようとしていない。 |

■『項羽と劉邦』「項王自刎」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『史記』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解している。 | ・『史記』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「項王自刎」のあらすじを把握し，わかりやすく説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・「項王自刎」のあらすじを把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・「項王自刎」のあらすじを把握していない。 |
| ⑥内容の解釈  読（１）エ | ・項羽が烏江の亭長の申し出を辞退した理由について理解し，根拠とともに説明している。 | ・項羽が烏江の亭長の申し出を辞退した理由について理解している。 | ・項羽が烏江の亭長の申し出を辞退した理由について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・「項王笑曰」の笑いとはどのような笑いかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・「項王笑曰」の笑いとはどのような笑いかについて考えている。 | ・「項王笑曰」の笑いとはどのような笑いかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・話し合い | ・三つの教材を通して，項羽という人物について考えたことを伝え，話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・三つの教材を通して，項羽という人物について考えたことを伝えようとしている。 | ・三つの教材を通して，項羽という人物について考えたことを伝えようとしていない。 |

■［言語活動］「『史記』の名場面を脚本化する」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・脚本にする本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・脚本にする本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・脚本にする本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②句法・書き下し文  （１）アウ，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ③読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・『史記』に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④文章の展開の理解  読（１）ウ | ・選んだ場面の登場人物の心情や人間性について理解し，根拠とともに説明している。 | ・選んだ場面の登場人物の心情や人間性について理解している。 | ・選んだ場面の登場人物の心情や人間性について理解していない。 |
| ⑤考えの形成  読（１）オク | ・登場人物の姿を生き生きと描き出す工夫について考えることを通して，自分の考えを広げたり深めたりするとともに，その内容を説明している。 | ・登場人物の姿を生き生きと描き出す工夫について考えることを通して，自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・登場人物の姿を生き生きと描き出す工夫について考えることを通して，自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑥創作・批評 | ・選んだ場面を読み込んで脚本を書き，朗読したり，劇として演じたりするとともに，他者の意見を聞いて自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・選んだ場面を読み込んで脚本を書き，朗読したり，劇として演じたりしようとしている。 | ・選んだ場面を読み込んで脚本を書き，朗読したり，劇として演じたりしようとしていない。 |

■『寓話―五編』「出藍誉」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『荀子』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『荀子』の概要や特徴について理解している。 | ・『荀子』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④言葉の成り立ち  　　　　　 　（２）ウ | ・「出藍の誉れ」という故事成語の意味や使われ方について理解し，その内容を説明している。 | ・「出藍の誉れ」という故事成語の意味や使われ方を理解している。 | ・「出藍の誉れ」という故事成語の意味や使われ方を理解していない。 |
| ⑤読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・たとえ話の内容を把握し，わかりやすく説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・たとえ話の内容を把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・たとえ話の内容を把握していない。 |
| ⑦文章の展開の理解  読（１）ウ | ・作者がたとえ話を通して，学問を志す者にとって大切なことを伝えようとしていることを理解し，その内容を説明している。 | ・作者がたとえ話を通して，学問を志す者にとって大切なことを伝えようとしていることを理解している。 | ・作者がたとえ話を通して，学問を志す者にとって大切なことを伝えようとしていることを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・作者がたとえ話を通して何を伝えようとしているかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・作者がたとえ話を通して何を伝えようとしているかについて考えている。 | ・作者がたとえ話を通して何を伝えようとしているかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・この話から「出藍の誉れ」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめるとともに，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・この話から「出藍の誉れ」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしている。 | ・この話から「出藍の誉れ」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしていない。 |

『寓話―五編』「侵官之害」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『韓非子』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『韓非子』の概要や特徴について理解している。 | ・『韓非子』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・本文の内容に即して登場人物の言動を把握し，その内容を説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・本文の内容に即して登場人物の言動を把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・本文の内容に即して登場人物の言動を把握していない。 |
| ⑥文章の展開の理解  読（１）ウ | ・韓の昭侯が典衣と典冠の両方を罰した理由について理解し，その内容を説明している。 | ・韓の昭侯が典衣と典冠の両方を罰した理由について理解している。 | ・韓の昭侯が典衣と典冠の両方を罰した理由について理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・『韓非子』が説く「明主」のあり方について法治主義との関係から正確に理解し，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・『韓非子』が説く「明主」のあり方について考えている。 | ・『韓非子』が説く「明主」のあり方について考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・本文の内容を踏まえて韓非の人間観と政治に対する基本的な考え方について理解を深め，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・本文の内容を踏まえ，韓非の人間観と政治に対する基本的な考え方について理解を深めようとしている。 | ・本文の内容を踏まえ，韓非の人間観と政治に対する基本的な考え方について理解を深めようとしていない。 |

■『寓話―五編』「刻舟求剣」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『呂氏春秋』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『呂氏春秋』の概要や特徴について理解している。 | ・『呂氏春秋』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④言葉の成り立ち  　　　　　 　（２）ウ | ・「舟に刻みて剣を求む」という故事成語の意味や使われ方について理解し，その内容を説明している。 | ・「舟に刻みて剣を求む」という故事成語の意味や使われ方を理解している。 | ・「舟に刻みて剣を求む」という故事成語の意味や使われ方を理解していない。 |
| ⑤読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・本文をたとえ話と筆者の主張の部分とに分け，それぞれの内容を把握し，わかりやすく説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・本文をたとえ話と筆者の主張の部分とに分け，それぞれの内容を把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・本文をたとえ話と筆者の主張の部分とに分け，それぞれの内容を把握していない。 |
| ⑦文章の展開の理解  読（１）ウ | ・筆者がどのようなことを主張しているかを理解し，その内容を説明している。 | ・筆者がどのようなことを主張しているかを理解している。 | ・筆者がどのようなことを主張しているかを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・筆者がたとえ話を通してどのようなことを主張しているかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・筆者がたとえ話を通してどのようなことを主張しているかについて考えている。 | ・筆者がたとえ話を通してどのようなことを主張しているかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・この話から「舟に刻みて剣を求む」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめるとともに，本文の主題について考え，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・この話から「舟に刻みて剣を求む」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめることを通して，本文の主題について考えようとしている。 | ・この話から「舟に刻みて剣を求む」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしていない。 |

■『寓話―五編』「塞翁馬」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『淮南子』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『淮南子』の概要や特徴について理解している。 | ・『淮南子』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④言葉の成り立ち  　　　　　 　（２）ウ | ・「塞翁が馬」という故事成語の意味や使われ方について理解し，その内容を説明している。 | ・「塞翁が馬」という故事成語の意味や使われ方を理解している。 | ・「塞翁が馬」という故事成語の意味や使われ方を理解していない。 |
| ⑤読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「塞翁」の周囲で起こった「禍」と「福」の内容を把握し，わかりやすく説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・「塞翁」の周囲で起こった「禍」と「福」の内容を把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・「塞翁」の周囲で起こった「禍」と「福」の内容を把握していない。 |
| ⑦文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「禍」「福」に対する「塞翁」と周囲の人々の考え方の違いを理解し，その内容を説明している。 | ・「禍」「福」に対する「塞翁」と周囲の人々の考え方の違いを理解している。 | ・「禍」「福」に対する「塞翁」と周囲の人々の考え方の違いを理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考えている。 | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・この話から「塞翁が馬」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめるとともに，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・この話から「塞翁が馬」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしている。 | ・この話から「塞翁が馬」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしていない。 |

■『寓話―五編』「杞憂」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②文学史  　　　　　 　（１）イ | ・『列子』の概要や特徴について理解し，その内容を説明している。 | ・『列子』の概要や特徴について理解している。 | ・『列子』の概要や特徴について理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④言葉の成り立ち  　　　　　 　（２）ウ | ・「杞憂」という故事成語の意味や使われ方について理解し，その内容を説明している。 | ・「杞憂」という故事成語の意味や使われ方を理解している。 | ・「杞憂」という故事成語の意味や使われ方を理解していない。 |
| ⑤読書の意義と効用  　 　　 　（２）エ | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解し，その内容を説明している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解している。 | ・寓話に親しむことを通して，読書の意義や効用を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑥現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・「杞国」の人と「暁す者」とのやり取りの内容を把握し，わかりやすく説明している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・「杞国」の人と「暁す者」とのやり取りの内容を把握している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・「杞国」の人と「暁す者」とのやり取りの内容を把握していない。 |
| ⑦文章の展開の理解  読（１）ウ | ・「杞国」の人の心配と，それに対する「暁す者」の説明について理解し，その内容を説明している。 | ・「杞国」の人の心配と，それに対する「暁す者」の説明について理解している。 | ・「杞国」の人の心配と，それに対する「暁す者」の説明について理解していない。 |
| ⑧考えの形成  読（１）カ | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考え，それに対する自分の意見や感想を持っている。 | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考えている。 | ・編者がどのようなことを主張しているかについて考えていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑨考察・発表 | ・この話から「杞憂」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめるとともに，発表を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・この話から「杞憂」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしている。 | ・この話から「杞憂」という故事成語が生まれたことを理解し，その意味や使われ方についてまとめようとしていない。 |

■『十八史略』「水魚之交」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』についての知識を積極的に伝え，学習への興味を示している。  ・史書の編纂形式，及び『十八史略』が編年体の歴史書であり，正史『三国志』の要約を含むことを正しく理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』について知識を有している。  ・『十八史略』の編纂形式を理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかんでおらず，『三国志』について知識を有していない。  ・『十八史略』の編纂形式を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・句法や重要語については訳し方のルールに従い，内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・諸葛亮が自らを管仲・楽毅になぞらえていた，とはどのようなことかを正しく理解している。  ・劉備が諸葛亮を迎え，諸葛亮の戦略を劉備は評価し，二人が親密な関係を結んだという話の流れを理解している。  ・いわゆる「天下三分の計」に当たる内容を箇条書きにまとめ，それぞれの内容を正しく理解している。 | ・句法や重要語については注意すべき語句であることを理解し，おおよそ内容を捉えて現代語訳している。  ・諸葛亮が自らを管仲・楽毅になぞらえていたことを理解している。  ・劉備と諸葛亮が親密な関係を結んだという話の内容を理解している。  ・いわゆる「天下三分の計」に当たる内容をおおよそ理解している。 | ・句法や重要語について注意すべき語句であることを理解せず，内容を捉えて現代語訳していない。  ・諸葛亮が自らを管仲・楽毅になぞらえていたことを理解していない。  ・劉備と諸葛亮が親密な関係を結んだという話の内容を理解していない。  ・いわゆる「天下三分の計」に当たる内容を理解していない。 |
| ⑤作品理解  読（１）エ | ・諸葛亮がどのような人物なのかを，他者からの評価だけでなく，諸葛亮自身の評価ももとに，正しく理解している。  ・「孤之有孔明、猶魚之有水也」が，劉備のどのような心情を言ったものかを理解している。 | ・諸葛亮がどのような人物なのかを，他者からの評価をもとに理解している。  ・「孤之有孔明、猶魚之有水也」は，劉備が諸葛亮を評価して言ったものであることを理解している。 | ・諸葛亮がどのような人物なのかを，理解していない。  ・「孤之有孔明、猶魚之有水也」が，劉備が諸葛亮を評価して言ったものであることを理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・劉備の諸葛亮に対する気持ちを自分の言葉でまとめるとともに，積極的に発表しようとしている。 | ・劉備の諸葛亮に対する気持ちを自分の言葉でまとめようとしている。 | ・劉備の諸葛亮に対する気持ちを自分の言葉でまとめようとしていない。 |

■『十八史略』「竭股肱之力」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』についての知識を積極的に伝え，学習への興味を示している。  ・史書の編纂形式，及び『十八史略』が編年体の歴史書であり，正史『三国志』の要約を含むことを正しく理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』について知識を有している。  ・『十八史略』の編纂形式を理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかんでおらず，『三国志』について知識を有していない。  ・『十八史略』の編纂形式を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。  ・「終」「卒」「竟」「遂」の漢字本来の意味を確認し，読み方や訳し方を正しく理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。  ・「終」「卒」「竟」「遂」の読み方や訳し方をおおよそ理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。  ・「終」「卒」「竟」「遂」の読み方や訳し方を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・句法や重要語については訳し方のルールに従い，内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・劉備の諸葛亮の才能に対する深い信頼と，諸葛亮の劉備・劉禅に対する忠誠心を正しく理解している。 | ・句法や重要語については注意すべき語句であることを理解し，おおよそ内容を捉えて現代語訳している。  ・どのような状況下での劉備と諸葛亮の発言なのか，また，発言の内容はどのようであるかをおおよそ読み取っている。 | ・句法や重要語について注意すべき語句であることを理解せず，内容を捉えて現代語訳していない。  ・どのような状況下での劉備と諸葛亮の発言なのか，また，発言の内容はどのようであるかを読み取っていない。 |
| ⑤作品理解  読（１）エ | ・劉備の遺言に対する返答から，諸葛亮の人柄を考えてまとめている。 | ・劉備の遺言に対する諸葛亮の返答の内容を理解し，諸葛亮の人柄を考えている。 | ・劉備の遺言に対する返答から，諸葛亮の人柄を考えていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・諸葛亮の劉備に対する気持ちを自分の言葉でまとめるとともに，積極的に発表しようとしている。 | ・諸葛亮の劉備に対する気持ちを自分の言葉でまとめようとしている。 | ・諸葛亮の劉備に対する気持ちを自分の言葉でまとめようとしていない。 |

■『十八史略』「流涕斬馬謖」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』についての知識を積極的に伝え，学習への興味を示している。  ・史書の編纂形式，及び『十八史略』が編年体の歴史書であり，正史『三国志』の要約を含むことを正しく理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』について知識を有している。  ・『十八史略』の編纂形式を理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかんでおらず，『三国志』について知識を有していない。  ・『十八史略』の編纂形式を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・句法や重要語については訳し方のルールに従い，内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・第一段落に描かれた戦いの様子を，蜀と魏を比較する形で正しく整理している。 | ・句法や重要語については注意すべき語句であることを理解し，おおよそ内容を捉えて現代語訳している。  ・第一段落に描かれた戦いの様子をおおよそ読み取っている。 | ・句法や重要語について注意すべき語句であることを理解せず，内容を捉えて現代語訳していない。  ・第一段落に描かれた戦いの様子を読み取っていない。 |
| ⑤作品理解  読（１）エ | ・諸葛亮と馬謖の関係を踏まえるとともに，諸葛亮の立場も理解したうえで，馬謖を斬った諸葛亮の思いを理解している。 | ・諸葛亮と馬謖の関係を踏まえ，馬謖を斬った諸葛亮の心情をおおよそ捉えている。 | ・諸葛亮と馬謖の関係を踏まえて，馬謖を斬った諸葛亮の心情を捉えていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・諸葛亮はどのような人物であるのか，「竭股肱之力」と「流涕斬馬謖」から読み取ってまとめ，積極的に発表しようとしている。 | ・諸葛亮はどのような人物であるのか，「竭股肱之力」と「流涕斬馬謖」から読み取ってまとめようとしている。 | ・諸葛亮はどのような人物であるのか，「竭股肱之力」と「流涕斬馬謖」から読み取ってまとめようとしていない。 |

■『十八史略』「死諸葛走生仲達」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』についての知識を積極的に伝え，学習への興味を示している。  ・史書の編纂形式，及び『十八史略』が編年体の歴史書であり，正史『三国志』の要約を含むことを正しく理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかみ，『三国志』について知識を有している。  ・『十八史略』の編纂形式を理解している。 | ・『十八史略』の概要をつかんでおらず，『三国志』について知識を有していない。  ・『十八史略』の編纂形式を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・句法や重要語については訳し方のルールに従い，内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・文脈に即して，場面の状況を的確に捉え，登場人物の心情や考えを理解している。 | ・句法や重要語については注意すべき語句であることを理解し，おおよそ内容を捉えて現代語訳している。  ・文脈に即して，場面の状況を捉え，登場人物の心情や考えをおおよそ理解している。 | ・句法や重要語について注意すべき語句であることを理解せず，内容を捉えて現代語訳していない。  ・文脈に即して，場面の状況を捉え，登場人物の心情や考えを理解することができていない。 |
| ⑤作品理解  読（１）エ | ・置かれた状況下における登場人物の心情や行動をもとにその人物像を捉え，人間の生き方について考えを深めている。 | ・置かれた状況下における登場人物の心情や行動をもとに，その人物像をおおよそ捉えている。 | ・置かれた状況下における登場人物の心情や行動をもとに，その人物像を捉えることができていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）キ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・諸葛亮や『三国志』の受容について，本文と「参考」の詩の内容を正しくつかんだ上で考察し，積極的に発表しようとしている。 | ・諸葛亮や『三国志』の受容について，本文と「参考」の詩をふまえて考えようとしている。 | ・諸葛亮や『三国志』の受容について，本文と「参考」の詩をふまえて考えようとしていない。 |

■『小話―三編』「鼓腹撃壌」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『十八史略』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深めている。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深め　　　ていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④先人の考えの理解  （２）エ | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な天子像と政治の在り方について正しく理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。 | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な政治についておおよそ理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしている。 | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な政治について理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥作品の解釈・価値  読（１）エ | ・この話から生まれた「鼓腹撃壌」の意味・用法を正しく理解している。 | ・この話から生まれた「鼓腹撃壌」の意味・用法をおおよそ理解している。 | ・この話から生まれた「鼓腹撃壌」の意味・用法を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）ク | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な政治について正しく理解し，自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な政治について理解し，自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・「鼓腹撃壌」の話から，古代中国における理想的な政治について理解せず，自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧調査・発表 | ・『十八史略』「五帝」の他の小話を読み，その内容を紹介するとともに，他者の発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・『十八史略』「五帝」の他の小話を読み，その内容を紹介しようとしている。 | ・『十八史略』「五帝」の他の小話を読み，その内容を紹介しようとしていない。 |

■『小話―三編』「宋襄之仁」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『十八史略』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深めている。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深めていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④先人の考えの理解  （２）エ | ・「宋襄之仁」の話から「無益のなさけ」について正しく理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。 | ・「宋襄之仁」の話から「無益のなさけ」について理解し，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしている。 | ・「宋襄之仁」の話から「無益のなさけ」について理解せず，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥作品の解釈・価値  読（１）エ | ・この話から生まれた「宋襄の仁」の意味・用法を正しく理解している。 | ・この話から生まれた「宋襄の仁」の意味・用法をおおよそ理解している。 | ・この話から生まれた「宋襄の仁」の意味・用法を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）ク | ・「宋襄の仁」の話から「無益のなさけ」について正しく理解し，自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・「宋襄の仁」の話から「無益のなさけ」について理解し，自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・「宋襄の仁」の話から「無益のなさけ」について理解せず，自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧調査・発表 | ・『孫子』「兵者詭道也」を読んでその内容をつかみ，襄公と孫子の考えを比較して考えたことを発表することで，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・『孫子』「兵者詭道也」を読み，自分なりに襄公と孫子の考えを比較して発表しようとしている。 | ・『孫子』「兵者詭道也」を読み，襄公と孫子の考えを比較して発表しようとしていない。 |

■『小話―三編』「燕雀安知鴻鵠之志哉」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『十八史略』とその編者について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深めている。 | ・『十八史略』とその編者について，知識を深めていない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア，（２）イ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ④先人の考えの理解  （２）エ | ・陳勝の思いについて正しく理解し，陳勝の発言の説得力について考えることで，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしている。 | ・陳勝の思いについて理解し，陳勝の発言の説得力について自分なりに考えることで，自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしている。 | ・陳勝の思いについて理解せず，陳勝の発言の説得力について自分なりに考えることで自分のものの見方，感じ方，考え方を豊かにしようとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。 |
| ⑥作品の解釈・価値  読（１）エ | ・この話から生まれた「燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんや」の意味・用法を正しく理解している。 | ・この話から生まれた「燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんや」の意味・用法をおおよそ理解している。 | ・この話から生まれた「燕雀安くんぞ鴻鵠の志を知らんや」の意味・用法を理解していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）ク | ・陳勝の思いについて正しく理解し，志を立てて邁進する生き方について，自分の考えを広げたり深めたりし，その内容を説明している。 | ・陳勝の思いについて理解し，志を立てて邁進する生き方について，自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・陳勝の思いについて理解せず，志を立てて邁進する生き方について，自分の考えを広げたり深めたりしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧調査・発表 | ・『十八史略』「秦」の他の小話を読み，その内容を紹介するとともに，他者の発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・『十八史略』「秦」の他の小話を読み，その内容を紹介しようとしている。 | ・『十八史略』「秦」の他の小話を読み，その内容を紹介しようとしていない。 |

■『古体詩―五首』「桃夭／上邪」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ | ・『詩経』や『楽府詩集』について，知識を深め，その内容を説明している。 | ・『詩経』や『楽府詩集』について，理解している。 | ・『詩経』や『楽府詩集』について，理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）アエ | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④古体詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・近体詩との違いを理解し，暗唱などを通して優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解し，暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解せず，暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・「桃夭」「上邪」にうたわれた主題や心情を，根拠を明確にして理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・「桃夭」「上邪」にうたわれた主題や心情を理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・「桃夭」「上邪」にうたわれた主題や心情を理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・漢詩の内容を理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解して暗唱していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・印象に残った詩を取り上げて，自分が読み取ったことや考えたことを効果的に表現しながら鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った詩を取り上げて，自分で鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った詩を取り上げて鑑賞文を書くことができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章を読むことを通して自分の考えをさらに深めるとともに，自分の鑑賞文を練り上げようとしている。 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章と自分の文章を比較して考えを深めようとしている。 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章と自分の文章を比較して考えを深めようとしていない。 |

■『古体詩―五首』「飲酒／子夜呉歌」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①作者についての理解  （１）イ | ・活躍した時代と作風，詩の評価について正しく理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）アエ | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④古体詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・近体詩との違いを理解し，暗唱などを通して優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解し，暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解せず，暗唱などを通して優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・「飲酒」「子夜呉歌」にうたわれた主題や心情を，根拠を明確にして理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・「飲酒」「子夜呉歌」にうたわれた主題や心情を理解している。 | ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・「飲酒」「子夜呉歌」にうたわれた主題や心情を理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・漢詩の内容を理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解して暗唱していない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・印象に残った詩を取り上げて，自分が読み取ったことや考えたことを効果的に表現しながら鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った詩を取り上げて，自分で鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った詩を取り上げて鑑賞文を書くことができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章を読むことを通して自分の考えをさらに深めるとともに，自分の鑑賞文を練り上げようとしている。 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章と自分の文章を比較して考えを深めようとしている。 | ・印象に残った詩の鑑賞文を書き，他者の文章と自分の文章を比較して考えを深めようとしていない。 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | 1. 作者についての理解 　（１）イ | ・活躍した時代と作風，詩の評価について正しく理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解している。 | ・活躍した時代と作風について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）アエ | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文　　（１）ア | ・訓点に従って漢詩を正確に音読でき，注意すべき点を理解して正しく書き下している。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができ，書き下し文にしている。 | ・指導者の範読に従って声に出して漢詩を読むことができず，書き下し文にしていない。 |
| ④古体詩の理解  （１）エ，（２）アエ | ・近体詩との違いを理解し，優れた表現に常に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解し，優れた表現に親しもうとしている。 | ・近体詩との違いを理解せず，優れた表現に親しもうとしていない。 |
| 思考・判断・表現 | ⑤現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・あらすじを把握し，場面ごとにその内容を正確に把握している。  ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・「長恨歌」の主題を，根拠を明確にして理解している。 | ・あらすじを把握し，場面ごとにその内容をおおよそ把握している。  ・重要語句の意味を理解して現代語訳している。  ・「長恨歌」の主題を理解している。 | ・あらすじを把握せず，場面ごとにその内容を把握していない。  ・重要語句の意味を理解して現代語訳していない。  ・「長恨歌」の主題を理解していない。 |
| ⑥古典への傾倒  読（１）エ | ・漢詩の内容を理解したうえで，詩の響きを味わいながら声に出して読んでいる。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，声に出して読んでいる。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，声に出して読もうとしていない。 |
| ⑦考えの形成  読（１）カ | ・印象に残った箇所を取り上げて，自分が読み取ったことや考えたことを効果的に表現しながら鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った箇所を取り上げて，自分で鑑賞文を書いている。 | ・印象に残った箇所を取り上げて鑑賞文を書くことができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑧考察・発表 | ・日本でも広く親しまれている「長恨歌」について調べ，自分の考えをまとめて発表するとともに，他者の発表を聞くことを通して，自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・日本でも広く親しまれている「長恨歌」について調べ，自分の考えをまとめて発表しようとしている。 | ・日本でも広く親しまれている「長恨歌」について，調べたりまとめたりしようとしていない。 |

■『古体詩―五首』「長恨歌」ルーブリック例

■『廉頗と藺相如』「澠池之会」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『史記』と司馬遷について正しく理解し，これまでに学習した内容を説明することができる。 | ・『史記』と司馬遷について，これまでに学習した内容をおおよそ理解している。 | ・『史記』と司馬遷について，これまでに学習した内容を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。  ・「寡人」「於是」「不肯」「不能」「不敢」の意味と読み方について，正しく理解している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。  ・「寡人」「於是」「不肯」「不能」「不敢」が重要語であることを意識している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。  ・「寡人」「於是」「不肯」「不能」「不敢」が重要語であることを意識していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・趙王の発言に対する，廉頗と藺相如の言動を的確に捉えている。また，秦との会見の内容を，正確に理解している。  ・秦が趙に与えた圧力と，趙が秦に与えた圧力を整理し，最終的な結果とともに理解している。 | ・主語を意識しながら現代語訳している。  ・趙王の発言に対する，廉頗と藺相如の言動をおおよそ捉えている。また，秦との会見の内容を，おおよそ理解している。  ・秦が趙に与えた圧力と，趙が秦に与えた圧力をまとめている。 | ・主語を意識しながら現代語訳していない。  ・趙王の発言に対する，廉頗と藺相如の言動を捉えていない。また，秦との会見の内容を理解していない。  ・秦が趙に与えた圧力と，趙が秦に与えた圧力をまとめていない。 |
| ⑤考えの形成  読（１）オク | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑥発表・討論 | ・藺相如の言動に対し，共感したことや思ったことをまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・藺相如の言動に対し，共感したことや思ったことをまとめようとしている。 | ・藺相如の言動に対し，共感したことや思ったことをまとめようとしていない。 |

■『廉頗と藺相如』「刎頸之交」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『史記』と司馬遷について正しく理解し，これまでに学習した内容を説明することができる。  ・「刎頸之交」の意味をつかみ，同意の故事成語を正しく理解している。 | ・『史記』と司馬遷について，これまでに学習した内容をおおよそ理解している。  ・「刎頸之交」の意味を理解している。 | ・『史記』と司馬遷について，これまでに学習した内容を理解していない。  ・「刎頸之交」の意味を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握　読（１）アイ | ・主語を確認しながら内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・廉頗と藺相如の発言・行動・心情について，本文から正しく読み取り，理解している。 | ・主語を意識しながら現代語訳している。  ・廉頗と藺相如の発言・行動について，お およそ読み取っている。 | ・主語を意識しながら現代語訳していない。  ・廉頗と藺相如の発言・行動について，読み取っていない。 |
| ⑤考えの形成  読（１）オク | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む  態度 | ⑥発表・討論・レポート | ・廉頗の藺相如に対する気持ちや行動をつかみ，二人の性格について自分の言葉でまとめるとともに，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。  ・「…の交わり」という形の故事成語を探し，もとになった話を読むとともに，現代の私たちの生活に当てはめて考えたことを，随筆にまとめようとしている。 | ・廉頗の藺相如に対する気持ちや行動を まとめようとしている。  ・「…の交わり」という形の故事成語を探し，もとになった話を読んで考えたことを随筆にまとめようとしている。 | ・廉頗の藺相如に対する気持ちや行動をまとめようとしていない。  ・「…の交わり」という形の故事成語を探し，もとになった話を読もうとしていない。 |

■『儒家と道家』「儒家の思想」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『論語』と孔子について正しく理解し，これまでに学習した内容を説明することができる。 | ・『論語』と孔子について，これまでに学習した内容をおおよそ理解している。 | ・『論語』と孔子について，これまでに学習した内容を理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アエ，（２）ウ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・脚注などを参考にしながら内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・「吾嘗終日不食…」の章から，「思」と「学」 の関係を正しく理解している。  ・「君子和而不同…」の章から，「君子」について正しく理解している。  ・「道之以政…」の章から，「政」と「徳」の関係を理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳している。  ・「吾嘗終日不食…」の章から，「思」と「学」 の意味をおおよそ理解している。  ・「君子和而不同…」の章から，「君子」についておおよそ理解している。  ・「道之以政…」の章から，「政」と「徳」の関係をおおよそ理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳していない。  ・「吾嘗終日不食…」の章から，「思」と「学」の意味を理解していない。  ・「君子和而不同…」の章から，「君子」について理解していない。  ・「道之以政…」の章から，「政」と「徳」の関係を理解していない。 |
| ⑤表現の特色の理解  読（１）ウ | ・「君子和而不同」と「小人同而不和」，「道之以政…無恥」と「道之以徳…有恥且格」とが対句表現にあることを理解したうえで音読し，その効果について正しく理解している。 | ・「君子和而不同」と「小人同而不和」，「道之以政…無恥」と「道之以徳…有恥且格」とが対句表現にあることを理解したうえで音読している。 | ・「君子和而不同」と「小人同而不和」，「道之以政…無恥」と「道之以徳…有恥且格」とが対句表現にあることを理解したうえで音読していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）オキ | ・『論語』における「学問・君子・政治」の関係性について正確に理解し，それをもとに自分の考えを深めるとともに，その内容を説明している。 | ・『論語』における「学問・君子・政治」の関係性についておおよそ理解し，それをもとに自分の考えを深めている。 | ・『論語』における「学問・君子・政治」の関係性について理解しておらず，自分の考えを深めていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦発表・討論 | ・「吾嘗終日不食…」「君子和而不同…」「道之以政…」の三つの章から，最も印象に残った章について，そのおもしろさや感じたこと，考えたことをまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「吾嘗終日不食…」「君子和而不同…」「道之以政…」の三つの章から，最も印象に残った章について，そのおもしろさや感じたこと，考えたことをまとめようとしている。 | ・「吾嘗終日不食…」「君子和而不同…」「道之以政…」の三つの章から，最も印象に残った章について，そのおもしろさや感じたこと，考えたことをまとめようとしていない。 |

■『儒家と道家』「人の本性とは」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・諸子百家の代表的な思想家について，活動した時代の状況や著作を把握している。 | ・諸子百家の代表的な思想家について，活 動時期や著作を把握している。 | ・諸子百家の代表的な思想家について，活 動時期や著作を把握していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アエ，（２）ウ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・脚注などを参考にしながら内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・「性相近也…」の章から，「性」と「習」 を対比して，「性」について正しく理解している。  ・「不忍人之心」の章から，四端の心を拡充することが世界平和をもたらすという孟子の思想を，「四端」 と「四徳」（仁義礼智）の関係をもとに，理解している。  ・「人之性悪」の章から，性悪説が人間を善に導くために説かれ，「師法之化」「礼義之道」の必要性を説いたものであることを理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳している。  ・「性相近也…」の章から，「性」についておおよそ理解している。  ・「不忍人之心」の章から，四端の心を拡充することが世界平和をもたらすという孟子の思想を理解している。  ・「人之性悪」の章から，性悪説が人間の性を悪であるとし，「師法之化」「礼義之道」の必要性を説いたものであることを理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳していない。  ・「性相近也…」の章から，「性」について理解していない。  ・「不忍人之心」の章から，四端の心を拡充することが世界平和をもたらすという孟子の思想を理解していない。  ・「人之性悪」の章から，性悪説が人間の性を悪であるとし，「師法之化」「礼義之道」の必要性を説いたものであることを理解していない。 |
| ⑤表現の特色の理解  読（１）ウ | ・孟子と荀子のそれぞれの説の根拠や相違点をまとめ，それぞれの論理展開の巧みな点について理解している。 | ・孟子と荀子のそれぞれの説の根拠や相違点を理解している。 | ・孟子と荀子のそれぞれの説の根拠や相違点を理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）オキ | ・『論語』における人間の「本性」と「習慣」との関係について理解し，本性が「相近」いことについて具体例を考えるとともに，その内容を説明している。 | ・『論語』における人間の「本性」と「習慣」との関係について理解し，本性が「相近」いことについて具体例を考えている。 | ・『論語』における人間の「本性」と「習慣」との関係について理解せず，本性が「相近」いことについて具体例を考えることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦発表・討論 | ・「人間の本性」と「人間の本性が善か，悪か」について，それぞれ考えをまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・「人間の本性」と「人間の本性が善か，悪か」について，それぞれ考えをまとめようとしている。 | ・「人間の本性」と「人間の本性が善か，悪か」について，それぞれ考えをまとめようとしていない。 |

■『儒家と道家』「道家の思想」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・諸子百家の代表的な思想家について，活動した時代の状況や著作を把握している。 | ・諸子百家の代表的な思想家について，活 動時期や著作を把握している。 | ・諸子百家の代表的な思想家について，活動時期や著作を把握していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アエ，（２）ウ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法や重要語については，訳し方のルールに従って正しく現代語訳している。 | ・訓点に従って漢文をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法や重要語について，注意すべき語句であることを理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法や重要語について，注意すべき語句であることを理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・脚注などを参考にしながら内容を正確に捉えて現代語訳している。  ・「無用之用」の章から，老子が挙げた「無用」がどのように有「用」なのかを，具体例をもとに理解している。  ・「大道廃、有仁義」の章から，大道廃・智慧出・六親不和・国家昏乱が，なぜ仁義・大偽・孝慈・忠臣という結果をもたらすのかを正しく理解している。  ・「小国寡民」の章から，老子が主張した「小国寡民」の目的を正しく理解している。  ・「曳尾於塗中」に述べられている荘子の生き方を，亀のたとえとの対応とともに理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳している。  ・「無用之用」の章から，老子が挙げた「無用」が有「用」であることを理解している。  ・「大道廃、有仁義」の章から，大道廃・智慧出・六親不和・国家昏乱が， 仁義・大偽・孝慈・忠臣という結果をもたらす理由について，おおよそ理解している。  ・「小国寡民」の章から，老子が主張した「小国寡民」の具体的な内容を，本文に即しておおよそ理解している。  ・「曳尾於塗中」に述べられている荘子の 生き方をおおよそ理解している。 | ・脚注などを参考にしながら現代語訳していない。  ・「無用之用」の章から，老子が挙げた「無用」が有「用」であることを理解していない。  ・「大道廃、有仁義」の章から，大道廃・智慧出・六親不和・国家昏乱が， 仁義・大偽・孝慈・忠臣という結果をもたらす理由について理解していない。  ・「小国寡民」の章から，老子が主張した「小国寡民」の具体的な内容を，本文に即して理解していない。  ・「曳尾於塗中」に述べられている荘子の生き方を理解していない。 |
| ⑤表現の特色の理解  読（１）ウ | ・老子が理想とした状態が崩壊することによって，儒家が重視した徳目がもてはやされるという老子の説明を，その表現の特徴とともに理解している。 | ・老子が理想とした状態が崩壊することによって，儒家が重視した徳目がもてはやされるという老子の説明を理解している。 | ・老子が理想とした状態が崩壊することによって，儒家が重視した徳目がもてはやされるという老子の説明を理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）オキ | ・孔子・孟子・老子が，それぞれ人間についてどう考えているかを，三者の考えの違いをつかみながら，理解している。 | ・孔子・孟子・老子が，それぞれ人間についてどう考えているかを理解している。 | ・孔子・孟子・老子が，それぞれ人間についてどう考えているかを理解していない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・儒家の教えと道家の思想について，また，そのような考え方が生まれた背景について，自分が考えたことを分かりやすく主張しようとしている。 | ・儒家の教えと道家の思想について，自分 で考え，不十分ながらも意欲的に主張し ようとしている。 | ・儒家の教えと道家の思想について，自分で考え，主張しようとしていない。 |

■『詩―二首』「聞旅雁」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②句法・書き下し文  （１）アエ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢詩を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢詩をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢詩を読み，書き下し文にすることができていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ③古典知識  （１）イ，（２）アエ | ・漢詩の規則と特徴について正しく理解している。  ・「聞旅雁」の詩の詩形・構成・押韻を正しく理解している。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯について正確に理解している。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解している。  ・「聞旅雁」の詩の詩形・構成・押韻をおおよそ理解している。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯についておおよそ理解している。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解していない。  ・「聞旅雁」の詩の詩形・構成・押韻を理解していない。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，漢詩の起承転結における展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・詩に描かれた状況をもとに，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを正しく理解している。 | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳している。  ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。 | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳することができていない。  ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。 |
| ⑤鑑賞  読（１）エ | ・起承転結の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱することができていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）カ | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえるとともに，菅原道真の生涯を調べることで，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえ，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえ，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・印象に残った表現や句について，自分の読み取った内容や惹かれた理由を明確に説明しようとしている。 | ・印象に残った表現や句について，読み取った内容や惹かれた理由など，何らかの説明をしようとしている。 | ・印象に残った表現や句について，読み取った内容や惹かれた理由などを説明しようとしていない。 |

■『詩―二首』「送夏目漱石之伊予」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①漢字の意味  （１）ア | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに漢詩で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・漢詩中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ②句法・書き下し文  （１）アエ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢詩を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢詩をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢詩を読み，書き下し文にすることができていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| ③古典知識  （１）イ，（２）アエ | ・漢詩の規則と特徴について正しく理解している。  ・「送夏目漱石之伊予」の詩の詩形・構成・押韻を正しく理解している。  ・漢詩が日本の知識人にとって心情を表現する手段の一つであったことを押さえるとともに，作者について，活躍した時代や作品，その生涯について正確に理解している。  ・「唐詩―八首」で学習した詩と比較し，中国の漢詩との違いを理解している。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解している。  ・「送夏目漱石之伊予」の詩の詩形・構成・押韻をおおよそ理解している。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯についておおよそ理解している。  ・「唐詩―八首」で学習した詩と比較し，中国の漢詩との違いに気づいている。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解していない。  ・「送夏目漱石之伊予」の詩の詩形・構成・押韻を理解していない。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯について理解していない。  ・「唐詩―八首」で学習した詩と比較し，中国の漢詩との違いに気づくことができていない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・重要語句の意味を理解し，漢詩の展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。  ・詩に描かれた状況をもとに，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを正しく理解している。 | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳している。  ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。 | ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳することができていない。  ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。 |
| ⑤鑑賞  読（１）エ | ・起承転結の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱することができていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）カ | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえるとともに，正岡子規と夏目漱石との交流を調べることで，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえ，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | ・漢詩に詠み込まれている作者の心情を踏まえ，人生，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりすることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦考察・発表 | ・印象に残った表現や句について，自分の読み取った内容や惹かれた理由を明確に説明しようとしている。 | ・印象に残った表現や句について，読み取った内容や惹かれた理由など，何らかの説明をしようとしている。 | ・印象に残った表現や句について，読み取った内容や惹かれた理由などを説明しようとしていない。 |

■［言語活動］「漢詩の作り方を知る」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①句法・書き下し文  （１）エ | ・訓点に従ってリズムを味わいながら漢詩を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。  ・重要語句の意味を理解し，漢詩の展開を把握し，必要な語句を補いながら正しく現代語訳している。 | ・訓点に従って漢詩をおおよそ正確に読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。  ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳している。 | ・訓点に従って漢詩を読み，書き下し文に直すことができていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。  ・重要語句の意味を理解し，必要な語句を補いながら現代語訳することができていない。 |
| ②古典知識  （１）イ，（２）イエ | ・漢詩の規則と特徴について正しく理解している。  ・「無題」の詩の詩形・構成・押韻を正しく理解し，漢詩を復元するとともに，漢詩を作る留意点について確認している。  ・漢詩が日本の知識人にとって心情を表現する手段の一つであったことを押さえるとともに，作者について，活躍した時代や作品，その生涯について正確に理解している。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解している。  ・「無題」の詩の詩形・構成・押韻をおおよそ理解し，漢詩を復元しようとしている。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯について理解している。 | ・漢詩の規則と特徴について，句の数や字数によって区別があることを理解していない。  ・「無題」の詩の詩形・構成・押韻を理解し，漢詩を復元しようとしていない。  ・作者について，活躍した時代や作品，その生涯について理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ③鑑賞  読（１）エ | ・詩に描かれた状況をもとに，作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを正しく理解している。  ・詩の展開と作者の心情をよく理解したうえで，詩の響きを味わいながら暗唱している。 | ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解している。  ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱している。 | ・作者がどのような心情を漢詩に詠み込んでいるのかを理解していない。  ・漢詩の内容を理解したうえで，漢詩を暗唱することができていない。 |
| ④考えの形成  読（１）キク | ・完成した漢詩を鑑賞することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を広げたり深めたりしている。 | ・完成した漢詩を鑑賞することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を広げたり深めたりしようとしている。 | ・完成した漢詩を鑑賞することで，自分のものの見方，感じ方，考え方を広げたり深めたりしようとしていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑤考察・発表 | ・日本人が作ったさまざまな漢詩を読み味わい発表するとともに，発表を通して自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 | ・日本人が作ったさまざまな漢詩を読み味わおうとしている。 | ・日本人が作ったさまざまな漢詩を読み味わおうとしていない。 |

■『信玄と謙信』「所争不在米塩」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『日本外史』の著者や構成について理解し，その内容を説明している。 | ・『日本外史』の著者や構成について理解している。 | ・『日本外史』の著者や構成について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・登場人物それぞれの言動を正しく理解している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・登場人物それぞれの言動をおおよそ理解している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・登場人物それぞれの言動を理解していない。 |
| ⑤鑑賞  読（１）エ | ・謙信の戦に対する考え方を正しく理解し，またその器の大きさをとらえている。 | ・謙信の戦に対する考え方をおおよそ理解し，謙信の人物像をおおまかにとらえている。 | ・謙信の戦に対する考え方を理解せず，謙信の人物像をとらえていない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）カ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦短文作成・発表 | ・「敵に塩を送る」という言葉の意味と，それがどのように使われているかを正しく理解して，適切な短文を作ろうとしている。 | ・「敵に塩を送る」という言葉の意味と，それがどのように使われているかをおおよそ理解して，短文を作ろうとしている。 | ・「敵に塩を送る」という言葉の意味と，それがどのように使われているかを理解した短文を作ろうとしていない。 |

■『信玄と謙信』「諸将服信玄」ルーブリック例

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 観点 | | Ａ　十分満足できる | Ｂ　おおむね満足できる | Ｃ　努力を要する | |
| 知識・技能 | ①文学史  （１）イ，（２）エ | ・『日本外史』の著者や構成について理解し，その内容を説明している。 | ・『日本外史』の著者や構成について理解している。 | ・『日本外史』の著者や構成について理解していない。 |
| ②漢字の意味  （１）ア | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解し，さらに本文で使用されている以外の別の意味や用法の知識を得ている。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解している。 | ・本文中の漢字の意味や成り立ち，用法を理解していない。 |
| ③句法・書き下し文  （１）アウ，（２）ウ | ・訓点に従って漢文を読み，正確に書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解し，その内容を説明している。 | ・訓点に従って漢文を読み，書き下し文にしている。  ・句法の意味・用法を理解している。 | ・訓点に従って漢文を読んでおらず，書き下し文にしていない。  ・句法の意味・用法を理解していない。 |
| 思考・判断・表現 | ④現代語訳・内容把握  読（１）アイ | ・文法事項等を踏まえた上で，文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。  ・謙信はどのような作戦を考え，信玄はそれに対してどのような判断を下したかを正しく理解している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしている。  ・謙信はどのような作戦を考え，信玄はそれに対してどのような判断を下したかをおおよそ理解している。 | ・文法事項等を踏まえて逐語訳をしていない。  ・謙信はどのような作戦を考え，信玄はそれに対してどのような判断を下したかを理解していない。 |
| ⑤鑑賞  読（１）エ | ・本文中で語られている信玄の武将としてのすばらしさを正しく理解している。 | ・本文中で語られている信玄の武将としてのすばらしさをおおよそ理解している。 | ・信玄の武将としてのすばらしさを本文に即して理解していない。 |
| ⑥考えの形成  読（１）カ | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めるとともに，その内容を説明している。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めている。 | ・史話のおもしろさを味わうだけでなく，史話から新たな知見を得，自分のものの見方，感じ方，考え方を深めることができていない。 |
| 主体的に  学習に取り組む態度 | ⑦レポート・発表・討論 | ・謙信と信玄の武将としてのすばらしさや力量について文章にまとめ，発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。 | ・謙信と信玄の武将としてのすばらしさや力量について文章にまとめようとしている。 | ・謙信と信玄の武将としてのすばらしさや力量について文章にまとめようとしていない。 |